

1 9 9 6

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次（心理学科）

教養教育科目（1年）

ヒューマニズム論	3
文学・フィクションと人間	4
王朝文学の世界	5
話し言葉の文芸	6
西洋文学	7
近代日本の歴史	8
西洋史概説	9
東洋美術	10・11
演劇論	12
現代社会論	13
現代家族論	14
日本国憲法	15
市民生活と法	16
政治学入門	17
生活の経済学	18
マスコミュニケーション概論	19
現代社会と女性	20
自然科学史	21
生命の科学	22
生物と環境	23
生活の科学	24
健康の生理学	25
宇宙と地球	26
総合英語Ⅰ（心理学科）	27～30
選択語学Ⅰ英語	31
選択語学Ⅰ独語	32
選択語学Ⅰ仏語	33
スポーツA（バドミントンと卓球）	34
スポーツA（テニス）	35
スポーツA（バレーボール）	36
スポーツA（イフビクス）	37
スポーツB（キャンプ）	38
健康科学	39
スポーツ科学	40

専門教育科目（1年）

心理学序説	43
青年心理学	44
発達心理学	45
条件づけ	46
性格の形成	47
社会心理学	48
生理心理学	49
基礎技法演習	50
実験計画法	51
心理学演習Ⅰ	52
心理学演習Ⅱ	53
文献研究	54～57
心理統計Ⅰ	58
心理統計Ⅱ	59・60
情報処理Ⅰ	61～63

教養教育科目（2年）

総合科目人間	67
総合英語Ⅱ（心理学科）	68～71
選択語学Ⅱ英語	72
選択語学Ⅱ独語	73
選択語学Ⅱ仏語	74

専門教育科目（2年）

感覚と知覚	77
記憶と思考	78
動機づけと感情	79
英書講読	80
情報処理Ⅱ	81・82
心理学研究演習・卒業研究	83～89
心理学研究法A	90～93
心理学研究法B	94～98
精神生理学	99
心理検査法	100
カウンセリング	101
行動療法	102
臨床心理学	103
健康心理学	104
障害児心理学	105
交流分析	106
児童相談	107
心理学特講Ⅰ	108
心理学特講Ⅱ	109
心身医学	110
精神保健	111
精神医学	112

教養教育科目（1年）

【授業科目名】 ヒューマニズム論	【担当者】 田中未来・黒田 瑛
【開講期】 (1年前期 ・○ 1年後期 ・ 2年前期 ・ 2年後期)	
<p>【授業目標】</p> <p>「ヒューマニズム」の理念について、その展開を述べ、つぎに現代社会の諸問題に対応するときの「ヒューマニズム」の視点を示す。またそれを現実に自らの生き方に反映させることについて学生とともに考える。「ヒューマニズム」は本学の建学の理念として、今日まで学園の教育を支えた思想である。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： な し</p> <p>参考書： 随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業内容を以下のように構成する。</p> <p>第1部 ヒューマニズムの意義(2回)</p> <p>ヒューマニズムの語義</p> <p>今、なぜヒューマニズムか</p> <p>人間を考える</p> <p>生命、精神、実存、統一体としての人間</p> <p>人間の尊厳と価値</p> <p>第2部 ヒューマニズムの展開(4回)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東洋と西洋 2. 「エロス」とヒューマニズム -ギリシャ思想- 3. 「アガペー」とヒューマニズム -キリスト教思想- 4. 「人間らしい文化」とヒューマニズム -ルネッサンス- 5. 「自由と人権」とヒューマニズム -啓蒙思想と市民革命および産業革命- 6. 人間の現実の生活の尊重 -プラグマティズム- 7. 「主体性」と「限界」 -実存主義- <p>第3部 現代とヒューマニズム(4回)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学と技術 -自然、環境、倫理、労働、情報- 2. 組織と人間 -個と集団、自由と統制、社会制度、国家- 3. 大衆社会状況の広がり -没個性化、消費文化への志向、外部志向型の人間、操作・管理される社会- 4. 人権思想の発展 -障害者、高齢者、女性、子ども、少数民族- 5. 教育・福祉とヒューマニズム -生涯学習、発達権、教育を受ける権利、生存権、幸福追求権、ボランティア <p>第4部 ヒューマニズムの課題(2回)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート提出</p>	

【授業科目名】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 文学作品に描かれた「世界」とは何なのか。それは先ず（少なくとも）、我々が生きているこの「現実」とは別の、「もう一つの世界」だろう。本講の目標は、この「もう一つの世界」としての「文学」(一般的には「芸術」)の構造を探りつつ、同時に、それとの関係の中で見えてくる「現実世界」の意味をも考えることにある。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は用いない。講義の中で指定する若干の小説を読むことが課題になる。</p>	
授 業 計 画	
<p>○ 例えば「小説」に描かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。しかし我々は、なぜワザワザこんな「作り事」を生み出し、求めて来たのか。なぜ、そんなウソッパチに感動したり、「生き方が変わってしまった」などという驚くべきことがおこるのか、という事を考えたい。</p> <p>これを考えることは、「文学」のみならず、「芸術」一般を考える出発点にもなるろうし、ひるがえって、(我々が生きている)この「現実」なるものの意味を考えることでもあろう(「現実」はなぜ「フィクションではない」などと言えるのか)。</p> <p>○ 講義は概ね、以下の三点をめぐって順次展開するはずである。</p> <p>① [フィクション論] ……「フィクション」とは何か、それと「現実」は、いかなる関係にあるか、という問題を軸に考える。</p> <p>② [文学作品における「方法」について] ……小説を中心に、「もう一つの世界」がどのような構造を持っているかを考える。</p> <p>③ [日常性と非日常性] ……ひるがえって、我々が「生きている」(と思っっている)この「世界」のリアリティー(あるいは限界)について考える。</p> <p>○ 若干の課題作品(講義の中で指示する)を読むのは当然ながら、そのほかにも、講義でふれる作品を意欲的に読んで行くこと。</p> <p>「芸術と現実」に関する自分なりの問題意識を、可能な限り鋭く研ぎ澄ますこと。この二つの前提があれば、講義は決して「難解」ではない。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験(自筆ノート参照可)。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する小テスト(1~2回)も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。</p>	

【授業科目名】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 “受験文法” のために日本の古典作品の多くが、横にちょん切られたままで終わってしまう。が、優れた古典は、作品としての主張をもっており、解説をこそ待っている。おもしろさに気づくことが第一の目標である。次いで、作品の主張の意味を時代に即して理解することを目指したい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 岩波文庫『竹取物語』・配布プリント 参考書は最初の授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平安時代初中期にかけて、口伝によるカタリが物語として生成し、主題性を明確にしていく。竹取物語と源氏物語に焦点を合わせ、生成初期から成熟への過程を追う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、さまざまな竹取の物語 2、カタリの話型^{パターン}と、話型^{パターン}による物語 3、かぐや姫はなぜ天界に帰るのか 4、物語の中の異界(1)――『古事記』の場合 5、物語の中の異界(2)――『源氏物語』明石へ 6、紫上の命日 7、「形代^{かたしろ}の物語」対「“おこ”の物語」 8、地上をさまよう「浮舟」 9、王朝物語の主題^{テーマ} 10、なぜこのような主題^{テーマ}が取り上げられるのか <p>おおよそ以上のような計画で進めたい。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験時レポート、及び授業時の[マトメモ]による。</p>	

【授業科目名】 話し言葉の文芸

【担当者】 東喜望

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 文字で書かれた文芸が制作される以前に、口こぼれでうたわれ、語られた文芸があった。かつて文字は支配層のものであった。文字を知らない民衆の創造した謡(うた)や話は、あらゆる文芸の基礎礎を成している。ここでは、基層文化としての民間説話を、概論的に説明しながら、その伝承のコスモロジーに至りたい。

【テキスト・参考書】

1. 講義資料を配布する。 2. 参考書・岩波文庫・関敬吾編「日本の昔ばなし」・I, II, III, (「おむすびもち」他・「桃太郎」他・「一寸法師」他)

授 業 計 画

講義は、おおよそ以下の項目にそって行う。

1. 自然と文化
2. こぼれと文化
3. 文芸の起源
4. 口承文芸
5. 昔話の形態
6. 昔話ルーツ

< 浦島・竹取翁・桃の子太郎など >

【評価方法】 定期試験時に実施する筆記試験。

【授業科目名】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作品が生まれた背景、作品の内容と特徴、作者の横顔、その作品がどのように読まれてきたかなどを紹介し、一種の文学案内にしたいと思っています。</p> <p>毎回の授業で一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、ジェイン・オースティン『高慢と偏見』、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、ルーシー・モード・モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリップ・ピアス『トムは真夜中の庭で』、ローラ・インガルス・ワイルダー『大きな森の小さな家』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』などです（変更する場合があります）。音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読みたいと思っている学生の聴講を期待します。</p> <p>授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポートの総合評価とします。授業の中で取り上げた作品またはその他の指定する作品について、「書評」（「感想文」ではなく）の形で期末レポートを書いていただきます。書き方については授業の中で説明します。</p>	

【授業科目名】 近代日本の歴史

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】

歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史に題材をとりながら、時間的流れのなかで変化をとげていく社会を構造的にとらえていく方法について考えていきたい。

【テキスト・参考書】

テキスト：特になし

参考文献：中村政則『歴史のこわさ・面白さ』 筑摩書房

授 業 計 画

必ずしも時代を追って歴史を眺める方法をとらず、日本の近代化過程で、名もない人々の生きざまが、どのように歴史をつくっていくことに関わりをもったかということ、いろいろな題材を通して考えていく。その中で、私たち自身が主体的に歴史に関わるとはどういうことかを明らかにしたい。差し当たって、アトランダムに次のようなテーマを設定している。

- ◇ローアングルからの歴史
- ◇民衆史、底辺史、個人史の意義
- ◇歴史における意図と結果
- ◇近代化の中の中央と地方
- ◇近代化の中の全体と個人
- ◇歴史を語る人との触れ合い
- ◇歴史を突き動かすもの

【評価方法】

最後にレポートを課す。

【授業科目名】 西洋史概説

【担当者】 川鍋光弘

【開講期】 1年 後期

【授業目標】 近代日本の目標としてきた西洋近代文明は、今や、その根本的な向題点を表面化させている。西洋近代市民社会はどのような問題をもっているのか、他の地域との関連のなかで考えてゆきたい。

【テキスト・参考書】 テキスト とくに使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 「地域からの世界史」シリーズ(朝日新聞社編)
第10巻 地中海 第11巻 ロシア連邦 第12巻 東ヨーロッパ 第13巻 西ヨーロッパ(上) 第14巻 西ヨーロッパ(下) 第15巻 北アフリカ

授 業 計 画

国際化の現実のなかで、高校社会科の必修世界史を修得していると思われるので、年代を追っての西洋の歴史の学習をするのではなく、西洋近現代文明と他の地域との関連についてのテーマをいくつかとりあげて、学生自身がひとつの歴史的事実についてどう考えるかを重視する授業としたい。授業の形態として意見発表・討論・グループ学習などをとりたいが、受講者の人数によって不可能の場合は、小レポート提出などを考えている。

さしあたり、次のようなテーマを考えているが、授業進行によって変更する。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 西洋とは | ⑥ 産業革命と世界 |
| ② 日本人の“西洋”観 | ⑦ 市民革命とナショナリズム |
| ③ ヨーロッパの民族問題 | ⑧ 帝国主義と社会主義 |
| ④ ヨーロッパの宗教対立 | ⑨ ファシズムと人民戦線 |
| ⑤ 絶対王政と西ヨーロッパの世界進出 | ⑩ 東西冷戦とヨーロッパ統合 |

各テーマをとりあげるときも、できるだけ具体的な教材を用意して、授業を工夫したい。

【評価方法】 ① 出席点
② 随時に行うアンケート・感想意見などの提出物の評価
を考えているが、受講者の人数により、方法を変えることがある。

【授業科目名】 東洋美術	【担当者】 神道明子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国美術への理解を深めることにより、東洋の中の中国美術、ひいては東洋の中の日本美術という視点を持つことに努める。また美術作品を通して、背景となる歴史・政治・文化の流れを考える力を養うことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト : 授業時に資料を配布する。</p> <p>参考書 : 『中国美術史』 マイケル・サリバン著 新潮社 『中国美術史』 小杉一雄著 南雲堂 他</p>	
授 業 計 画	
<p>古代中国の美術は日本の美術に大きな影響を与えた。特に我が国の仏教美術は、中国・朝鮮の美術を理解することなしには語るができない。しかしその中国の仏教美術もまたインドからの外来文化である。これらのことを念頭におき、前半は中国の何千年という歴史を支えた仏教以前の美術、主として都市や墳墓などの考古学的発掘の成果にみる美術を中心に話を進める。</p> <p>後半はインドから西域、或いは南方のルートを通して中国に伝わった仏教美術が、どのように展開してゆくのかを現在中国各地に残る石窟寺院の仏教彫刻を中心に、図やスライドを使って講義を進めていくことにする。博物館、美術館などの見学も随時行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 彩陶・黒陶 (2) 殷・周・春秋戦国時代の美術 青銅器文化 (3) 秦始皇帝と兵馬俑坑 (4) 漢の明器と画像石 (5) 仏教伝来と初期の仏像 (6) 炳靈寺石窟と麦積山石窟 (7) 敦煌莫高窟の壁画と塑像 (8) 雲崗石窟 (9) 竜門石窟 (10) 隋・唐の仏教美術 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、レポート 他</p>	

【授業科目名】 東洋美術	【担当者】 山田磯夫
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋といっても範囲が広く、各地域では相異なる文化圏に属し、異なった美術様式をもっているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこでこの講座では、アジアの諸地域にわたって強く影響を与えた仏教に焦点をあて、極東の国・日本で生み出された仏教美術を概観し、東洋美術の特質を考察する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 : 辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社</p>	
授 業 計 画	
<p>日本の仏教美術は近世以前の日本美術の形成・発展において常にその母胎となってきた。この講座では、まず仏教美術理解の基本である仏像の見方について学び、古代から中世に至る仏像彫刻を取り上げ、彫刻様式の流れの理解につとめる。スライド使用。</p> <p>以下のテーマに沿って進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①はじめに—東洋の文化圏とシルクロード ②仏教美術について—仏像の見方(1) ③仏教美術について—仏像の見方(2) ④飛鳥時代の彫刻Ⅰ—仏教伝来と最初の仏像 ⑤飛鳥時代の彫刻Ⅱ—法隆寺の仏像と止利仏師 ⑥白鳳時代の彫刻—旧山田寺の仏頭 ⑦天平時代の彫刻Ⅰ—薬師寺の仏像 ⑧天平時代の彫刻Ⅱ—東大寺の仏像 ⑨平安時代の彫刻Ⅰ—木彫の誕生と—木造 ⑩平安時代の彫刻Ⅱ—寄木造と仏師定朝 ⑪鎌倉時代の彫刻—南都復興と慶派仏師 ⑫講義のまとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験</p>	

【授業科目名】 演劇論	【担当者】 高橋秀雄			
【開講期】 1年 前期				
【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇についての考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特徴を探求する。				
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）				
授 業 計 画				
<p>洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特徴を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教儀礼と演劇 2. 悲劇と喜劇 3. 能と「花伝書」 4. 歌舞伎と「虚実皮膜論」 5. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム 6. 歌舞伎と新劇 7. オペラとミュージカル 8. 比較演劇論 				
【評価方法】 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">左記3項による総合評価</td> </tr> </table>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価
<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価		

【授業科目名】 現代社会論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えるとき、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>講義中に適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 「人間が生きる」ということ</p> <p>2. 人間の行動・行為</p> <p>3. 「人間らしく」生きることと欲求</p> <p>4. 人間を特徴づけるパーソナリティ</p> <p>5. 行動様式としての文化</p> <p>6. 集団生活のあり様</p> <p>7. 現代日本社会の諸相</p>	<p>－ 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。</p> <p>－ 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。</p> <p>－ われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。</p> <p>－ 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。</p> <p>－ とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。</p> <p>－ 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。</p> <p>－ 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉—家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>— 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>— 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>— 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>— 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>— 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。</p> <p>(1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>— 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目名】 日本国憲法	【担当者】 工藤繁裕
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本国憲法の基本構造を理解し、法的・憲法的考え方を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト：特に指定しない 参考文献：樋口陽一「憲法」（創文社） 野中・江橋編「憲法判例集」（有斐閣新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>憲法の基本原則を中心に、判例も参照しながら、おおよそ以下の項目に沿って進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 憲法および日本国憲法 2 主権 3 議会 4 内閣と行政 5 地方自治 6 裁判 7 人および市民の権利 (1) 古典的権利 8 同 (2) 現代的権利 9 同 (3) 市民の権利と義務 10 国際社会と平和 	
【評価方法】	

【授業科目名】 市民生活と法	【担当者】 工藤繁裕
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活を法の中から眺め、同時に日常生活を規制しているこの法そのものについて考えることを通じて、法的な考え方を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>考慮中</p>	
授 業 計 画	
<p>現代社会生活の一領域・一局面をピックアップし、一話完結の形で進める。各テーマでは、その実態・規範・判例を検討し、その問題点を考える。現在予定しているテーマは以下の通りであるが、ほかにも、女性、消費生活、差別、税金、高齢化社会、社会保障などなど、いわば無数にある。可能な限り、受講者の希望も取り入れて決めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 はじめに――市民生活と法 1 生命と法 2 家族と法 3 教育と法 4 労働と法 5 情報と法 6 医療と法 7 犯罪と法 8 環境と法 9 地域社会と法 10 国際社会と法 	
【評価方法】	

【授業科目名】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 政治とは権力闘争であることを、政治制度、イデオロギー、国内外の政治情勢に関する解説をとおして理解していただくことを目標とする

【テキスト・参考書】

テキスト：中村勝範『正論自由』第12巻（慶應通信、平成8年）

授 業 計 画

政治とは権力闘争である。したがって政治の世界では生身の人間の欲望が渦巻いており、政治は倫理や道徳でもりきれないものとなる。

この講義では、道徳でもりきれない政治のダイナミズムについて、具体的な出来事を通して解説する。

だいたい以下の手順で講義をすすめる。

- ① 政治制度の解説
- ② イデオロギーの解説
- ③ 国内外の政治情勢について

※ 私語、飲食は厳禁である

【評価方法】

筆記試験またはレポート

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山 哲朗
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>経済の基本的な仕組みを理解し、《生活と経済》の関連をめぐる基礎的な知識の習得をめざす。同時に、社会的な諸事象を《経済学的眼》で見る方法の重要性について学習する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：池上惇『経済学への招待』（有斐閣、1994年） 参考書：講義において適宜紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>人間の《生活》の営みを《いのちとくらしの再生産》としてとらえ、《いのちとくらしの再生産》が「豊かになる」ということが本来的にどのような意味であるのかについて、以下のテーマを中心にしながら講義を進めていく。必要に応じて、ビデオによる学習も取り入れる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人間の《生活》と欲求の発展段階 (2) 人間の欲求と市場経済 (3) 世界の経済体制 (4) 戦後日本経済と産業構造の変化 (5) 経済のサービス化・ソフト化 (6) 経済成長と企業社会 (7) 地球環境問題と経済構造の転換 (8) 世界経済のなかの日本 (9) アジア経済のなかの日本 (10) 《生活の豊かさ》と経済政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末試験の成績と授業への出席等を勘案して総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 本授業は図書館司書科目に指定されているので、「図書館の自由に関する宣言」の基礎になる「知る権利」を重点に勉強する。これと平行して、卒業後、社会で必要となる広報、広告の理論と実際もさぐって行きたい。

【テキスト・参考書】

瀬木博道ほか共著：「広報の基礎Ⅰ」
日経広告研究所編

授 業 計 画

- マスコミとは何か 現状 (上)
- 同 上 (下)
- ジャーナリズムとは
- 言論の自由と知る権利 (上)
- 同 上 (下)
- 図書館の自由と知る権利
- 広告概論
- 広報概論 (上)
- 同 上 (下)
- マスコミのあり方 — 新聞を中心に。

【評価方法】

受講態度 } ならば 筆記試験
本 欠

【授業科目名】 現代社会と女性	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましいあり方や、生き方を探る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書： 小松満喜子著 『私の女性学講義』ミネルヴァ書房 『婦人白書』婦人団体連合会編、ほるぷ出版</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>雇用機会均等法や育児休業法の導入など、女性をめぐる社会的状況は近年大きく変化した。一方、不況下における女子学生の厳しい就職差別などに見られるように、女性が社会に出てから一人の人間として、自立して主体的に生きることは相変わらず困難な状況にある。</p> <p>そこで変動する現代社会の諸問題、とりわけ家族、労働、教育、福祉の諸問題を女性の視点から考えてみることによって、現代の女性および男性がかかえている問題状況を明らかにし、21世紀に生きる男性と女性の望ましいあり方や社会システムについて考える。</p> <p>内容は</p> <p>(1)女性のライフサイクルの変化と性別役割分業、 (2)現代社会と女性労働 (3)高齢(化)社会と女性・家族・家庭 (4)男女共生社会に向けての世界の動き・日本の動き</p> <p>の4テーマとし、それぞれ2~3回講義する予定である。ただし学生の問題関心の寄せ方によってテーマ毎の講義回数は変更することもある。</p> <p>授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加える。また身近な問題なども取り上げることによって、それらの諸問題が学生自身の現在と将来における自分自身の問題でもあることを認識できるようにし、問題解決への意欲を持てるようにしたい。(なおこの授業科目は保育科と心理学科の学生を対象とした科目である。教養科の学生は専門科目の現代女性論でさらに詳しく論ずる予定なので教養科の学生はそちらを選択して下さい)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各学期末のレポートと平常授業時に実施するミニレポートによる総合評価、</p>	

【授業科目名】 自然科学史	【担当者】 柳下登																		
【開講期】 1年 後期																			
<p>【授業目標】 自然科学を学ぶことは、色々な公式、記号、概念等を覚えることだと思い、それが理科嫌いの原因となっている。科学は暗記のためのものではない。人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学することは真善美を追求する文化系の諸活動と同根である。科学の歴史は人間の歴史である。ここでは科学を語るためではなく、発想を逆転し、人間を語るために科学の足跡を追うことにした。</p>																			
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：自然科学入門（甲斐義幸、二宮勘輔）学術図書出版社</p> <p>参考書：科学の文化史（平田 寛）朝倉書店。 科学思想のあゆみ（Ch. シンガー）岩波書店。他。</p>																			
授 業 計 画																			
<p>この講義では年代順の諸科学の歴史ではなく、講義目標にあわせ、「サルから人間への道で得たこと」「物質」「宇宙」「生命」の主要テーマの解明の過程を考察することにした。細目は講義の全体像を理解するために記した。</p> <p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 科学の芽生え</p> <p>a. ナイル川のもたらしたもの：暦、幾何学 b. ピラミッドのもたらしたもの：数学 c. ギリシアの自然科学の確立 d. ローマ、アラビア時代、中世の科学の特徴</p> <p>3) 物質の根源を求めて</p> <p>a. タレスの「アルケー」 b. デモクリトスの「アトム」 c. アリストテレスの「四元素説」 d. デカルトの「粒子説」 e. ドルトンの原子論 f. メンデレーフの原子概念の深化 g. 原子構造と原子核の世界</p> <p>4) 宇宙の動きと姿を求めて</p> <p>a. 古代の宇宙観 b. コペルニクスの地動説 c. ガリレイの「天文学対話」と「新科学対話」 d. ニュートンは地上の法則を天界へ導入 e. 太陽系の起源に関するカント、ラプラスの星雲説 f. 星の一生と原子核反応 g. 宇宙は膨張する</p> <p>5) 生命の源と進化</p> <p>a. 古代における生命の「母なる大地」の考え b. アリストテレス生命の完成への目的 c. ヘルモンの自発生説 v s パスツールの実験 d. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ e. ラマルク：生物はと複雑になった f. ダーウィン：生物は共通の祖先から g. オパーリの「自然発生」説の復活 h. メンデルの遺伝の粒子説 i. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん構造の発見 j. バイオテクノロジー</p> <p>6) まとめ：今日の自然像、ピートン物語</p> <p>実験：火をおこしてみよう かまぼこの板とアジサイの枝（太さ約2cmで長さ20cm、乾かしておく）を用意する。</p>																			
<p>【評価方法】</p> <p>講義時の豆レポート4回と定期試験にかわる課題レポート1回</p>	<p>点はエジプト数字で知らせる。</p> <table style="border: none;"> <tr> <td> </td><td>…1</td> <td>⌋</td><td>…1000</td> <td>⌋</td><td>…100000</td> </tr> <tr> <td>∩</td><td>…10</td> <td>∩</td><td>…10000</td> <td>∩</td><td>…1000000</td> </tr> <tr> <td>e</td><td>…100</td> <td>○</td><td>…分数記号</td> <td></td><td></td> </tr> </table>		…1	⌋	…1000	⌋	…100000	∩	…10	∩	…10000	∩	…1000000	e	…100	○	…分数記号		
	…1	⌋	…1000	⌋	…100000														
∩	…10	∩	…10000	∩	…1000000														
e	…100	○	…分数記号																

【授業科目名】 生命の科学	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 私たちの命は多くの生物に支えられています。地球上の清浄な大気、水、土壌は生物たちの共同作業によって維持されています。食糧、医薬品など様々な生活必需品の源は生物です。一般には難しいといわれる生物学ですが、生物学は人間が生きていく上で最も大切な基礎学問です。	
【テキスト・参考書】 プリント（複数の書籍を参考資料として使用する。）	
授 業 計 画	
<p>地球上に生命が誕生してから35億年、多種多様な生物が登場し、繁栄し、消滅してきました。しかしながら、生命の設計図である遺伝子、すなわちDNAは生命の誕生から現在まで脈々と伝えられてきました。顕微鏡でしか見ることのできない微生物から巨大な生物であるシロナガスクジラやセコイアまで、その基本は同じです。基本は同じでも、生物を比べて見るとその形、生態、行動など一つとして同じものはありません。私たちが今見ている生物はそれぞれが進化し、生きてきた姿なのです。何故こんなにも多様な生物が存在するのでしょうか。</p> <p>エイズ、アレルギー、遺伝病、人口や資源、環境など生物学に関わる問題は山積みしています。生物学はまた日進月歩の学問です。農学、医学、薬学、栄養学、遺伝子工学、心理学など応用分野も多方面にわたっています。授業ではいくつかの生物学の話題を拾いながら、生命について、生命現象の謎について紹介していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きているということ ・ 生命の起源 ・ DNA ・ 種とは何か ・ 性の誕生 ・ 病気と闘う ・ 生命の共生 ・ 生命倫理・環境倫理 	
【評価方法】 レポート＋筆記試験	

【授業科目名】 生物と環境	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 『ヒト』を含めた地球型生物とその生息環境である地球との科学的かつ歴史的な総合認識を持つことでこれからの地球環境について個人個人の問題意識を持てるようにする。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>全ての地球上の生物は意識するしないは別として必ず環境という枠の中で生れ、生活し、滅んでいきます。今日、「ヒト」の経済活動のために地球上のあらゆる環境は地球誕生以来50億年の間で最も激しく、そして経験したことのないかたちで激変する時代に直面しています。このような状況の中で「生物と環境」の講義ではまず地球上で生活している生物がその生物を取り巻く環境とどのような関連をもって生活しているかについて概説し、次に生物を取り巻く環境の変化とその生物の対応について具体的かつ生態学的見地からの理解を深めます。そして最終的にヒトという動物の存在が地球環境にどのような歴史的かつ経済的背景をもって影響を及ぼしてきたかについて学んでもらいたいと考えています。以上述べたことは現在大きな問題と成っている種々の「地球環境問題」を理解し、それにたいして我々がどのような問題意識をもち、さらに具体的対応策を個人のレベルで立てていくことができるかを考える際の手引きになるよう構成するつもりです。</p> <p>講義の中ではできるだけ実物の生き物に接する機会を作り、疑似体験ではない、直接体験の機会を多く持ちたいと思っています。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験</p>	

【授業科目名】 生活の科学	【担当者】 滝沢 靖臣
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。</p> <p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の中で項目ごとに紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。 6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。 12. 物質科学とエネルギー 13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 科学は地球を救えるか。 	
【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。	

【授業科目名】 健康の生理学	【担当者】 境広志
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>より積極的・創造的で高度な健康を獲得するためには「自分の健康は自分で管理する」という意識を持つことが大切である。本講では、健康管理に必要な様々な知識を学び、それらを生活のなかで実践していく態度を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>《テキスト》 使用しない 《参考書》 参考図書・文献等は講義のなかで紹介していく</p>	
授 業 計 画	
<p>健康の生理学では、現代人の健康問題（成人病・AIDS・ストレス・食生活・運動不足…）についてを取り上げ、それらを通してより積極的・創造的で高度な健康を獲得するために必要な事項について学習していく。さらに、健康づくりを目的にスポーツを日常生活のなかに取り入れていく場合、各自の条件に応じてどのように実践していけば最大限の効果が得られるかについて、最新の情報やデータから考えていく。また、内容によっては理解を深めるために視聴覚教材を使用していく。</p> <p>主な内容は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 成人病の予防 (2) 免疫とAIDS (3) 子どもの健康とスポーツ (4) 中高年の健康 (5) 長寿の科学 (6) 姿勢と健康 (7) 健康づくりのためのスポーツ (8) スポーツ外傷・障害 (9) ストレスと健康 (10) 食事・スポーツと肥満 	
<p>【評価方法】 ①課題レポート ②授業時の小レポート（不定期）</p>	

【授業科目名】 宇宙と地球	【担当者】 杉村新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>皆さん知りたがり屋になってください。自然を知るのは、人生の基本です。そして、成るほどなあとと思うようになってください。それは自然を理解していく一步一步なのです。皆さんがそういう一步一步を感じる事ができれば、担当者の幸せであり目標でもあります。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社） 参考書：（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）</p>	
授 業 計 画	
<p>最初の時間にアンケートをします。そのためにテキストが必要です。このアンケートの結果に基づいて、担当者の側で授業内容を“選択”します。第2回目の時間以後もテキストは必ず持ってくること。 講義中のおしゃべり厳禁。 毎回スライドを映しながら講義します。 授業は必ずしもテキストの順序（下記）通りではありません。順序未定。 テキストの内容の抜粋： 震源、地震、火山、岩、堆積、地質、地殻変動、プレートテクトニクス、化石、資源、鉱物、環境保全、大気、雲、雨、海、星、銀河 こんなに沢山はできませんから“選択”するのです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持ち込み不可の試験で成績をつけます。自然科学は暗記物ではないから、テキストのまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点します。</p>	

【授業科目名】 総合英語 I (心理学科)	【担当者】 清野 茂子
【開講期】 1年前期・後期	
【授業目標】 13世紀から現代イギリス社会に突然現われたWilliamが、いろいろな異文化体験をするdrama、彼と共に現在のイギリスを理解し、楽しみながらspoken English for communicationの力を養ってほしいと思う。	
【テキスト・参考書】 "Cousin William I" --essential spoken English for communication-- Seibido, 1800yen	
授 業 計 画	
<p>テキストは、ドラマの部分とコメンタリーの部分に分かれている。一年間を通して、授業は20のunitからなるドラマを中心に進めるので、コメンタリーは、各自、自分で内容を理解してもらい、授業中に簡単な質疑応答を行なう予定。</p>	
【評価方法】 出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。	

【授業科目名】 総合英語 I (心理学科)

【担当者】 後藤玲子

【開講期】 1年 前後期

【授業目標】 日本で発行されている英字新聞 4誌の記事を速読可能なレベルに rewrite されたテキストとテープを使って、「速く・要点を把握しながら読む技能の習得と向上を図るとともに、実際の英字新聞を活用し、そのアプローチの仕方を学んでいきます。

【テキスト・参考書】

Speed Reading in Action, Gary Cantor 他編, (桐原書店, 1993年, 480円)

授 業 計 画

第一回目 - Introduction

- ・ 「読むこと」の多様性について
- ・ 新聞英語について
- ・ 「速く」読むには……

第二回目以降は、毎回 1 ユニットずつ学習していきます。

1. Attitudes About Leisure Changing
2. Mongolian Wrestlers
- ⋮
23. Bad Bashing
24. Asians Celebrate Success At the Winter Olympics

授業に際して、テキストの手習いは不要です。しかし必携。共有は不可。
毎回、読むスピードを測定しながら、理解度をチェックしていきます。
1分間 100語のスピードから始めて、150語を目標にしたいと思えます。

また、実際の英字新聞から、読みやすい、あるいはおもしろい記事をいくつか取り上げて読んでいきます。

【評価方法】

平常点と試験

【授業科目名】 総合英語 I (心理学科)	【担当者】長尾 主税
【開講期】 1年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。いずれの方法においても、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語 I (心理学科)	【担当者】 森田 真澄
【開講期】 1 年前期 ・ 1 年後期	
【授業目標】 ビデオ・ムービーを併用し、教科書（映画のシナリオ）を読むだけではない、コミュニケーションを主眼に置いた授業を行います。映画を原語で味わう楽しさ、外国語を理解する喜びを、知って頂きたいと思います。	
【テキスト・参考書】 “Best American Screenplays for Students” 「総合英語：あの映画、あの名場面」（株）ニールカレントインターナショナル発行、 2000円	
授 業 計 画	
<p>受講者は、授業に出る前にテキストの宿題の部分を必ず読んでおく事が前提のクラスです。前期に “It Happened One Night”（或る夜の出来事）、後期に “Gone With the Wind”（風と共に去りぬ）各々の、ハイライト・シーンをカバーする予定です。</p>	
【評価方法】 (1) 原則として、毎週、授業中に小テストを行います。 (2) 授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。 (Class Participation ----- CP) (3) 映画及び授業に対する感想を、日本語でレポート用紙に1枚以上書いて頂きます。 以上の三点で評価します。 評価の内訳は、(1) ----- 80% (2) ----- 20% (3) ----- 期限までに提出すれば、OKです。	

【授業科目名】 選択語学 I-1 I-2 英語	【担当者】 ハベル、森田、清野 中島、後藤、田中
【開講期】 1年 前期 後期（海外語学研修：夏期集中）	
【授業目標】 オーラル・コミュニケーション、フィクション講読、ライティングのそれぞれの分野を中心に表現能力や読解力を高めることによって、また海外語学研修では、英語圏の文化に直接触れることによって、英語の全般的な能力を高め、英語圏の文化を理解する。	
【テキスト・参考書】 開講時に指示	
授 業 計 画	
<p> 選択語学・英語は、オーラル・コミュニケーション、フィクション講読、ライティングの3分野に分かれて、それぞれ聞き話す力、読む力、書く力を高めようとするのが目的であるが、言うまでもなく、語学能力はこれら4つの力が相乗的に向上することによって力を発揮する。従ってどのクラスもそれぞれの分野に力点を置きながら、総合的な英語力を身につけられるように授業を展開する。英語圏の文化に直接触れることで文化理解の向上を目指す海外語学研修も開講される。 </p> <p> オーラル・コミュニケーション 担当：ハベル清子、森田真澄、清野茂子 聞き話す力を磨くことで、英語の理解と表現力を身につける。 </p> <p> フィクション講読 担当：中島好伸、後藤玲子 小説を読むことで、語彙力を高め、英語の理解と表現力を身につける。 </p> <p> ライティング 担当：後藤玲子、清野茂子 英語の構成を正しく知ることによって、日常会話も含めた表現力を身につける。 </p> <p> 海外語学研修 担当：田中安行 英語圏の文化に直接触れることによって、文化を理解し、英語運用能力を高める。（事前指導5回、夏期集中） </p> <p> どの分野も出席を重視する。 </p>	
【評価方法】 担当教員により開講時に提示	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 独語	【担当者】 正路妙子
【開講期】 1年 前後期	
【授業目標】 <p>基礎的な文法をマスターし、ドイツ語を聞き、話し、読む力を養うことを目指す。</p>	
【テキスト・参考書】 <p>Deutsch zum Hören und Sprechen—ドイツ語聞いてはなして—（白水社）</p>	
授 業 計 画	
<p>毎週 前半では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・文法の説明 2・練習問題（プリントを使用） <p>後半では、テープを使って</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・基礎的な会話のパターン練習 2・テープの内容がどの程度に理解できたかを確認する問題 <p>のように扱う。</p>	
【評価方法】 毎週行なう文法確認テスト並びに定期試験と同様に、出席状況や、講義に臨む積極性を評価します。	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 1年 前後期

【授業目標】 英語以外の新しい言葉をフランスの文化を学びながら、
楽しく修得していきたいと思います。又、4年生大学への
編入にも役に立つようにしたいと思います。

【テキスト・参考書】 *Bienvenu en France*
ビテオ教材

授 業 計 画

- 1 発音練習. 英語と同じアルファベットを使いながら、発音が大きく異なるフランス語の発音を練習します。
- 2 文法. 英文法と変わらないといいつながら、フランス語独得のものも多いのでその点を練習します。
- 3 文化
ビテオ教材を使うので、実際のフランスの映像と発音を学びながら、私達の国と違う文化に
触れながら、少しでも世界を広く楽しく学び
欲しいと思います。
今年度も仏検に挑戦したり、実際にフランス
に行き、みたいと思う学生さんが居ります。
フランスも決して良いところばかりではなく、日本と
同じように様々な社会問題に苦しんでいます。
単なる憧れではなく、非常に私達に近いフランス
を感じて頂けると嬉しいです。

【評価方法】 試験

【授業科目名】 スポーツA (バドミントンと卓球)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得及び態度の育成。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>技能練習とゲーム</p> <p>〔バドミントン〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 3、サービスの練習 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <p>〔卓球〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ボール慣れ 2、素振りと正しいフットワーク 3、フォアトップ打ち、バックショート、ツッツキの練習 4、どのコースでも打てるようにする 5、正規のサービスが出せるようにする (変化サービスも) 6、各種打法の練習 7、ゲームとルール、審判法 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点とゲーム中に採点</p>	

【授業科目名】 スポーツA (テニス)	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * サーブ、ストローク、ボレーという基礎的技術の修得 * タイムリー・システムを含め、ゲームの進行法を理解すること 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ テニス 教本。(社)日本テニス協会 編 	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボレー (フォアハンド, バックハンド) ・ ストローク (:) ・ サーブ 一 時限ごとに目標を定めて進める。 ・ ミニゲームによる復習。 ・ 試合形式でのまとめ (ルールについての指導を含む) 以上の手順ですすめていきます。 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業毎の評価、レポート</p>	

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 池森 隆虎
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 6人制バレーボールをルールに則って楽しく行えるようになることを目標とする。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>基本動作の説明と技術練習 (オーバーハンド・アンダーハンドのレフト及びスライク、サービス)</p> <p>ルール及び基本的作戦の説明と実践 (ゲーム進行、得点、審判法、ポジショニング)</p> <p>ゲームの実践 (リーグ戦)</p>	
【評価方法】 出席を重視、その他として参加態度、習熟度、技術度、等を加点対象として考慮する。	

【授業科目名】 スポーツA (エアロビクス)	【担当者】 飯塚 真穂
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 エアロビクスダンスの実践を通して、健康で美しい身体、積極的な行動を可能にする身体をつくる。また、基礎理論を理解し、自分でダンスプログラムが立てられることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 特に使わない。</p>	
授 業 計 画	
<p>前半：ストレッチ ----- より大きな動きを可能にする身体作り</p> <p>基本動作の練習 ----- 様々な応用が可能な基本的なステップを習得</p> <p>ダンスプログラムの練習 ----- 短かめの曲に合わせたプログラムを覚える</p> <p>後半：ダンスプログラムの作成と実演 ----- 前半の内容をもとに、各自で組み立てる</p> <p>※必ず、運動しやすい服装に着替えて出席のこと。</p>	
<p>【評価方法】 出席点+平常点+実技テスト</p>	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な能力と態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題について ・健康の破壊と成立について ・健康の設計と処方について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 村田 務他：エイズと健康、1996年。 参考書 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。 田中恒男：健康の生態学、大修館、1985年。</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面や行動学的側面はもとより、環境的側面及び保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って、疾病予防と健康増進の学問としての健康科学の知見や考え方について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学の概念 2、今日の健康問題 3、疾病の疫学と健康の成立 4、主体と健康 5、環境と健康 6、保健医療体制と健康 7、保健行動と健康 8、健康問題Ⅰ（医学的、生物学視点から） 9、健康問題Ⅱ（心理学的、社会学的視点から） 10、健康問題Ⅲ（行動科学的視点から） 11、健康問題Ⅳ（保健医療体制、保健行政の視点から） 12、健康生活の設計と処方 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（ペーパーテスト）及び平常試験（レポート、平常点）</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 スポーツを科学的にみること, 科学的な営みとしてみること	
【参考書】 『テニス教本』 (社) 日本プロテニス協会編 スキー・シヤカレ 『スポーツ・トレーニング理論』 村木 征人著 ブックハウス・エッセイ 『わたしのバドミントン・ブック』 阿部 一任・智子著 てらへいあ 他	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ◦ トレーニング論 ◦ 運動処方論 ◦ バイオメカニクス ◦ 運動学 ◦ スポーツ哲学 ◦ スポーツ心理学 ◦ スポーツ社会学 <p>等の知見を平易に提示することをそれぞれの時間の目的とする。</p> <p>映像資料を中心に素材を示し, 分析した後, 学生のレポートをもとめる。</p>	
【評価方法】 各授業ごとのレポート, Finalレポート	

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 心理学序説	【担当者】 神田信彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 心理学全般にわたって基礎的な知識を修得するとともに、心理学的な視点を身につけることを目指す。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 水口礼治著 「市民のための心理学」（福村出版）</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は、教科書の内容に沿って進めるが、随時、補足資料も配布する予定。 授業の内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方等） 2. 心理学の範囲と人間生活の関係 3. 感覚と知覚の心理 4. 性格の心理 5. 学習の心理（2週） 6. 記憶と思考の心理（2週） 7. 欲求と動機づけの心理（2週） 8. 適応と逸脱の心理（2週） 	
<p>【評価方法】 平常点（含む小レポート）及び定期試験</p>	

【授業科目名】 青年心理学	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>青年期の行動様式について学習心理学の行動様式について学習し、あわせて心理学の基本的アプローチについて考えます。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：なし</p> <p>図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。</p> <p>山田和夫「成熟拒否」、稲村博「思春期挫折症候群」、荘厳舜哉「親と子の病理」、霜田静志、他「自己分析を語る」、小此木啓吾「モラトリアム人間の時代」、クラウス、他「親と子のきづな」、深沢道子、他「拒む心・求める心への接近」、他」</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学と青年心理学。 2. 発達段階としての青年期。 3. 発達課題とidentity。 4. 青年期の課題とそのアプローチ。 5. libido説について：精神分析的アプローチ。 6. 愛情と感情の発達。 7. うつについて。 8. 適応障害 <p>心理学科卒業生による講演、「心理学と私（仮題）」を途中に入れる予定です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，期末試験</p>	

【授業科目名】 発達心理学	【担当者】 神田信彦
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 心理的発達のプロセスを知り，人間理解を深める．	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>前半では，乳児期から青年期までの全体的な心理的諸側面の発達について講義を行う． 後半では，認知，言語・思考や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスについて講義を行う予定である． 講義予定は、概ね以下の通りである．</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．発達心理学とは 2．乳児期の心理的発達（2週） 3．幼児期の心理的発達（2週） 4．学童期の心理的発達 5．青年期の心理的発達（2週） 6．認知の発達のプロセス 7．言語と思考の発達のプロセス 8．社会性の発達のプロセス 9．発達と適応 	
【評価方法】 平常点（含む小レポート）及び定期試験	

【授業科目名】 条件づけ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解させることを目的とする。	
【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。なお、このテキストは2年前期の「記憶と思考」のテキストとしても用いることがある。 「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社）	
授 業 計 画	
<p>1. 学習とはなにか</p> <p>2. 古典的条件づけ</p> <p>始めに I. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。</p> <p>テキスト 1章</p> <p>3. オペラント条件づけ</p> <p>B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。</p> <p>テキスト 2章</p> <p>4. 社会的学習</p> <p>自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。</p> <p>テキスト 4章</p>	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目名】 性格の形成	【担当者】 穂苅千恵
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間の個性について、原因－結果という視点だけでなく、その発生の不思議さを実感していく視点を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>『魔法の世界の子どもたち』 高辻玲子著 (講談社現代新書)</p> <p>『くますけと一緒に』 新井素子 (新潮文庫)</p>	
授 業 計 画	
<p>人間はひとりひとり、ユニークな個性をもっています。そうした個性について、私たちは通常「×××の両親に育てられたから」「何歳の時こういう出来事があったから」「×××の体質だから」といった理由を見つけて、「だからこういう性格になった」という筋道で了解しています。でも、そもそも個性が育った原因は、言葉や出来事によって説明できることなのでしょうか。同じ両親に育てられ、過去に同じような事件に巻き込まれた人が、いつも同じ個性を持っているのでしょうか。</p> <p>「原因－結果」という視点から性格をとらえ類型化する試みを通して、私たちは多くの知見を得てきました。しかし、ここには意外な落とし穴が隠されていることも忘れるべきではないでしょう。</p> <p>本講義では、「個人」を尊重するという発想にたって、「個性の誕生」について小説や事例を通して考えていきたいと思っています。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート・出席</p>	

【授業科目名】 社会心理学	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では自己意識、社会的影響、対人間距離などのトピックを通して、他者との間に存在する様々な問題を社会心理学的な視点から捉えなおすことをめざす。	
【テキスト・参考書】 必要に応じて授業の際に紹介する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己意識 <ul style="list-style-type: none"> ・自己意識とは ・自己意識の発生 ・自己意識形成の要因 ・自己客体視 ・自己客体視の影響 ・自己知覚 ・自己知覚理論と認知的不協和理論 ・帰属理論とその応用 2. 社会的影響（承諾を導く5原則＋1） <ul style="list-style-type: none"> ・「フット・イン・ザ・ドア」「ローボール」テクニックと一貫性の原理 ・「ドア・イン・ザ・フェイス」テクニックと返報性の原理 ・権威に対する服従 ・自分と似た者への同調 ・心理的リアクタンスと希少性の原理 ・好意の利用 3. 対人間距離 <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルスペース（個人空間） ・パーソナルスペースの特徴と大きさを左右する要因 ・動物のパーソナルスペース ・なわばりとパーソナルスペース ・関係、活動の種類と距離 	
【評価方法】 期末試験（多肢選択形式、持ち込み不可）による。	

【授業科目名】 生理心理学	【担当者】 竹内 朋香
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>”心”を研究していく上で、最低限必要と思われる、ヒトの脳神経系の基本的な構造と機能について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストとして下記を指定する。 フロイド・E・ブルーム他（著） 久保田競（監訳） 脳の探検（上） 講談社 必要に応じて、プリントを配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>原則的に、以下の項目を中心に、テキストにそってすすめていく。 今後さらに心理学を勉強していく上で、”使える知識”として習得できるようにする。</p> <p>人間が脳をどのように扱ってきたか 脳へのアプローチとしてどのような研究方法があるのか 脳神経系の構造と機能 感覚や運動のしくみ 体内環境の維持（ホメオスタシス）</p> <p>★脳神経系の用語や働きは、難解で敬遠されがちですが、なるべくわかりやすく説明するつもりです。 自分自身の身体を理解するつもりでのぞんでください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点として、適宜小テストで基本事項の確認を行う。 定期試験を行う（テキスト・ノート持ち込み可）。</p>	

【授業科目名】 基礎技法演習	【担当者】 菅本康之
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 女性の心理のつくられ方を「セラピー」と「文化論」の二つの視点から探る。これまでの心理学が持っていた男性中心主義的な問題点を文化分析を通してあきらかにし、各自がその解決の方向を考える出発点とする。	
【テキスト・参考書】 テキスト：L.アイケンハウム+S.オバーック『フェミニスト・セラピー』（新水社） ロビン・ノーウッド『愛しすぎる女』（読売新聞社） 参考書：適宜紹介する	
授 業 計 画	
(1)授業計画と評価の基準・方法の説明 学生の自己紹介1 ※自己紹介を通して、自分というものを現状においてどう評価しているかを知る。 (2)学生の自己紹介2 および＜ジェンダー概念の定義＞ ※ジェンダー・アイデンティティとは何かを理解する (3)＜対象関係理論とジェンダー・アイデンティティ＞ ※フェミニスト・セラピーの位置づけ (4)＜「女性心理」の具体例＞（『愛しすぎる女』をテキストにして） ※「女性心理」が産み出す「病」を理解する。レポート提出 (5)女らしさの組立て その1、＜母＝娘関係のなかで形成される心理＞ ※自分の母娘関係を対象化する (6)ビデオ観賞1 『エミリーの未来』 ※映画を通して母娘の関係を理解する (7)ビデオ観賞2 『エミリーの未来』 ※映画を通して母娘の関係を理解する (8)「家族」と「女性」 ※「家族」のなかでの女性の位置を理解する (9)女らしさの組立て その2、＜文化と性 日本のセクシャルハラスメントの現状＞ ※自分達が生きている社会がどういう社会であるかを理解する (10)女らしさ（男らしさ）の組立て その3、＜文化と性 メディア・レイプ＞ ※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する (11)フェミニスト・セラピー その1、＜セクシャル・アビューズの体験記を読む＞ ※体験記に対し持った感想を通して自己を理解する (12)フェミニスト・セラピー その2、＜セラピストがやるべきこと＞ ※セラピストに必要な最低限の技法を理解する (13)まとめ ※女性心理と文化の関係を理解できたか	
【評価方法】 リポートと授業時の感想文	

【授業科目名】 実験計画法	【担当者】 八木孝彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の心理学は実験の学問であるといつて差し支えないほどである。それほど心理学において重要な意味をもつ「実験」とはなんであろうか。この授業ではこの質問にたいして回答できるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 心理学実験計画入門</p> <p style="text-align: center;">Robert L.Solso & Homer H. Johnson 浅井邦二監訳 学芸社</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 実証の大切さ 2) 相関的研究と実験的研究 3) 心理学の実験とは 4) 多数被験者実験 5) 実験的研究の条件 <ol style="list-style-type: none"> a) 再現性 b) 無作為割り当て c) 数量化と統計学の利用 d) 実験者バイアス e) 操作的定義 6) 少数被験者実験 <ol style="list-style-type: none"> a) 少数被験者実験とは b) 実験例 7) 実験的研究の倫理 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験期間あるいは授業期間中にペーパー試験をおこなう。</p>	

<p>【授業科目名】 心理学演習 I</p>	<p>【担当者】 荻野、金子、神田、倉沢、大木、中丸、杉山、堀野</p>
<p>【開講期】 1 年前期</p>	
<p>【授業目標】</p>	
<p>基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量かや図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p>	
<p>「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリント配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>15～16人のグループに別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。 実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となって実験を行いデータを集める。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の事件の前日までに各自レポートを書き、提出する。 実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。</p> <p style="margin-left: 40px;">導入実験：ミューラー・リャーの錯視 実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名呼称 情報の伝達と変容 実験B：反応時間 要求水準</p> <p>全体の予定は以下の通り。</p> <p>第 1回 オリエンテーション（実験時の注意、レポートの書き方等） 第 2回 導入実験 第 3回 実験A-1 第 4回 実験A-2 第 5回 実験A-1のレポートの講評 第 6回 実験A-3 第 7回 実験A-4 第 8回 実験B-1（その1） 第 9回 実験B-1（その2） 第10回 実験B-2（その1） 第11回 実験B-2（その2） 第12回 実験B-1のレポートの講評</p>	
<p>【評価方法】</p>	
<p>実験のレポートの評価による。</p>	

【授業科目名】 心理学演習Ⅱ	【担当者】 荻野、金子、神田、倉沢、大木、中丸、堀野、()
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなどを行う。調査やテストでは、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法を学習する。また、動物の実験を経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 核実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>実験演習Ⅰと同様、15～16人のグループに別れて行う。実験Ⅰと異なり、4つの主要な実験（調査等を含む）は2週を単位として行われる。ほかに1週間単位の心理テストが2種類入る。</p>	
<p>実験Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に参加し、感想文を書き、提出しなければならない。</p>	
<p>実験／調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 ソシオメトリー</p>	
<p>心理テスト：YG性格検査 ほか</p>	
<p>全体の予定は以下の通り。</p>	
<p>第 1回 オリエンテーション（演習Ⅱで求められる内容について） 第 2回 実験／調査1（その1） 第 3回 実験／調査1（その2） 第 4回 実験／調査2（その1） 第 5回 実験／調査2（その2） 第 6回 実験調査1のレポートの講評 第 7回 心理テスト1 第 8回 実験／調査3（その1） 第 9回 実験／調査3（その2） 第10回 実験／調査4（その1） 第11回 実験／調査4（その2） 第12回 実験／調査3のレポートの講評 第13回 心理テスト2 第14回 卒業発表会に振り替える。</p>	
<p>【評価方法】 実験／調査のレポートおよび、心理テストのレポートの評価による。</p>	

【授業科目名】 文献研究	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 ストレス処置をめぐるテーマについて考えます。	
【テキスト・参考書】 テキスト：中西信男，他「ストレス克服のためのカウンセリング」 有斐閣	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ストレスをめぐる諸問題 2. ストレスの影響を受けやすい性格—タイプAなど 3. ストレス対処法：認知的アプローチ 4. 同 ：交流分析 5. 心の健康について 	
【評価方法】 平常点，その他未定	

【授業科目名】文献研究	【担当者】神田信彦
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 心理学の考え方や方法について基礎的な知識を得るとともに、文献を独自の視点で捉え、批判的に考察を行うトレーニングを行う。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト：中島力編著 「こどもの社会的発達」(ソフィア)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>各回ごとに、予め決められた発表担当者が、担当部分についての要約を作成した上で発表を行う。別に進行係を決め、討論を進める(各回とも出席者全員が、複数回の発言を行う)。この作業を通じて、テーマへの理解を深めるとともに、考えることの面白さを体験していく。</p> <p>・以下の内容を中心に取り上げる予定である</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的発達の課題と理論 2. 乳児期の社会的・情緒的発達 3. 対人認知の発達 4. 達成行動の発達 5. 攻撃の発達 6. 向社会的行動の発達 	
<p>【評価方法】 平常点(演習への関与度等) 出席重視</p>	

【授業科目名】 文献研究	【担当者】 池田善英
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 ①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。 ②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。	
【テキスト・参考書】 テキスト：佐藤綾子「自分をどう表現するか」（講談社現代新書） 参考書：日向茂雄「発表する技術」（ごま書房）	
授 業 計 画	
<p>テキストはパフォーマンス学の立場から書かれたものです。ここでパフォーマンスとは、「日常生活の中の意識的な自己表現行動」を指しています。このようにテキストは、社会心理学（特に自己呈示、非言語的コミュニケーション、印象形成などの研究）を、理論的な背景としています。</p> <p>受講生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全体で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。要領よく報告することは、なかなか難しいものです。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方に必要なに応じて、別の資料も紹介したいと思います。また成績評価に際しては授業時の活動を重視しますし、受講生の皆さんが積極的に参加してくれるよう期待します。なおテキストの構成は、以下の通りです。</p> <p style="margin-left: 40px;">第1章 —— 言葉にならないサインを読む 第2章 —— 初対面の相手と親しくなる 第3章 —— どんな自分を表現するか 第4章 —— パフォーマンス・トレーニング</p>	
【評価方法】 ①レポート ②平常点	

【授業科目名】 文献研究	【担当者】 杉山 成
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 テキストは人間の動機づけ（モチベーション）を教育・発達心理学の立場から解説したものです。これを輪読することによって、心理学的なものの方の見方，考え方を身につけることを目的とします。	
【テキスト・参考書】 宮本美沙子「やる気の心理学」（創元社）	
授 業 計 画	
<p>受講生はテキストの一部を担当し，報告を行います。そして，それに基づいて，全体で質疑応答・討論を行うことになります。こうした過程において，文献を批判的に読み，テーマや研究手法を確実に理解することを目指して下さい。なお，テキストの構成は，次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 「やる気」のしくみ 2, 「やる気」の発達 3, 「やる気」と人格特性 4, 「やる気」と社会 5, 「やる気」と学校生活 6, 自己実現と「やる気」 	
【評価方法】 平常点で評価。	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 萩野七重
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。 記述統計学の習得。	
【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。 「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社) 6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。	
授 業 計 画	
<p>1章 統計法と測定値</p> <p>2章 度数分布と統計図表</p> <p>3章 中心傾向の測度</p> <p>4章 得点の散布度</p> <p>5章 正規分布と相対的位置</p> <p>6章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。</p>	
【評価方法】 中間テストと定期試験の結果で評価する。 テキストおよび電卓の持ち込みは可。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得させる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストとして、心理統計Ⅰで用いたものを引き続き使用する。 「心理と教育のための統計法」 山内光哉 （サイエンス社） 7章から</p>	
授 業 計 画	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p>11章 より複雑な分散分析 要因計画</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p>13章 順位による統計法</p> <p>14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行う。従って11、13、14章は授業の様子により、省略する事がある。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>中間テスト（複数回）と定期試験とを行う。教科書及び電卓の持ち込み可。</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方と、使い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは後期開始前に掲示する。授業には必ず持参すること。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。 2、母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量 標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること 3、統計的仮説の検定と区間推定 統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性 母分散がわかっている場合の仮説検定 母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か 平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか 4、2つの平均値の差の検定と区間推定 独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 5、1分散分析入門－1要因の場合 分散分析における仮定 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合） 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合） 6、より複雑な分散分析－要因計画 要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈 7、カイ2乗検定 カイ2乗を用いたさまざまな検定 独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか 比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか 	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。</p>	

【授業科目名】 情報処理 I	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 今日、コンピュータは私たちの生活に浸透し、読み書きがキーボードやディスプレイを通じた形でなされる機会が多くなると予想される。この授業では文書作成の実習を通して、コンピュータに親しみ、コンピュータとの基礎的な対話力を養うことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ワープロ・パソコンを使う前に ハードウェア・ソフトウェア、キーボード、フロッピーディスクとフォーマット 2. かな漢字変換 3. ファイルの保存と読み出し OSとファイルシステム 4. 編集 移動、削除、コピー、挿入 5. 印刷 6. 文書の体裁 アンダーライン、網掛け、強調、文字サイズなど 7. 書式設定 8. 罫線の活用 9. 外字作成 10. アウトラインプロセッシングの考え方 手書き文書とワープロ文書の違い アウトラインプロセッシングのための道具 	
<p>【評価方法】 実技試験をおこなう。</p>	

【授業科目名】 情報処理Ⅰ	【担当者】 森田信一
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 情報社会といわれる今日、オフィスでも家庭でも、基本的な情報処理能力が要求されている。本講では、その中でも、ワードプロセッサによる文書処理の方法を学び、これが文書処理の基本的な道具となっていることを理解する。	
【テキスト・参考書】 「情報処理演習 - 例題で親しむワープロ・表計算・プログラミング - 」	
授 業 計 画	
<p>ワードプロセッサの基本的な利用法を身に付け、身近な文書処理への活用を実感できるような実習を行なっていく。ほぼ次のような手順で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活の中での情報について 2. 文書処理とワードプロセッサの活用 3. ワードプロセッサの基本的な機能 4. 基本的な文書の作成 5. 様々なレイアウト 6. ビジネス文書の作成 7. 表や図を含む文書の作成 8. 文書作成におけるワードプロセッサ活用の利点について 	
【評価方法】 提出課題、実技試験、出席によって評価する。	

【授業科目名】 情報処理 I	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 ワードプロソフトを使っての文書の作成・編集を通して、コンピュータに親しみ、楽しんで使えるようになることを目標とする。	
【テキスト・参考書】 指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 コンピュータの各部分の名称, 使い方, フロッピーディスクについての説明. 2. 文字の入力 漢字変換, カタカナ, アルファベットの入力の仕方. 簡単な文章の入力. 3. 文書の編集 文字の挿入, 削除, 複写, 移動. 文書保存, 呼び出し. 4. 印刷 印刷の仕方, 印刷スタイルの設定, その他いろいろな印刷. 5. 文字の修飾 文字サイズ, 文字飾りなど. 6. 文書のレイアウト 7. 罫線 いろいろな罫線の活用. 	
【評価方法】 出席, 授業中におこなう課題.	

教養教育科目（2年）

【授業科目名】 人間	【担当者】 吉川・浅井・村田・富永
【開講期】 2 年前期 後期	
【授業目標】 「環境を考える」という統一テーマで、4名の教員がそれぞれの専門的立場から、環境問題をとりあげる。	
【テキスト・参考書】 テキストは使用しない。参考書は授業の中で各教員によって指示される。	
授 業 計 画	
I 宇宙船地球号の環境を考える 1. 主体と環境ーゾウの環境ネズミの環境 エコロジーの意味するところ 2. 大気の世界 二酸化炭素・オゾン層 3. 水の世界 ミネラルウォーターと天然水 酸性雨・富栄養化・水汚染 4. 緑の世界 樹木のライフサイクル 森林と砂漠化 5. 生物ー環境モニタリング 生物の多様性と種の保全 (6.) 地球環境と人類 持続可能な消費は可能か Reduce・Recycle・Reuse II 教育環境を考える(子どもをとりまく環境) 1. 世界の子どもの生活環境 ユニセフ「世界子供白書」から(困難な条件の中で生活する子どもたち) 2. 子育て環境としての家族の現在 家族の養育機能について(子育て不安 子供の虐待 子育てと家族) 3. 学びの世界としての学校の現在 学校とは(いま学びの楽しさ 出会いの楽しさは?) 4. 遊び環境の変容 アナーキースペースとしての遊び環境 遊びと子どもの人格形成 5. メディア環境と子どものセクシュアリティ メディアの有害性とはなにを意味するのか メディアが子どものセクシュアリティに与える影響 III 環境と健康 1. 温熱環境への生体反応(・ホメオスタシス・調節と適応、順化) 2. 暑さの健康科学(・暑さに対する体温調節・熱中症・暑い地方の人々) 3. 寒さの健康科学(・寒さに対する体温調節・凍死・寒い地方の人々) 4. 暑さ寒さと日本人(・耐暑性・耐寒性・男女差) 5. 至適温度への働きかけ(・暑さ、寒さへの対応・健康と冷暖房・) IV 戦後50年、日本経済の発展と家族・家庭生活の変化 1. 戦後における日本経済の発展過程 2. 戦後50年における家族・家庭生活の変化 3. 現代勤労者家族の経済生活をめぐる諸問題	
【評価方法】 試験の時期と評価方法は担当教員によって異なり、授業時間に担当者によって指示される。	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ (心理学科)

【担当者】 後藤玲子

【開講期】 2年 前後期

【授業目標】 アメリカ3大ネットワークの1つであるABC放送のニュース番組 "World News Tonight" から編集されたビデオとテープとテキストを使って、テレビの視覚情報を最大限に活用しながら、音声情報の理解力の向上を図り、さらに news story を学ぶことにより、語彙を豊かにし、内容についての理解を深めていくことで、現代社会を見つめる確かな目と判断力を養うことを目標にします。

【テキスト・参考書】

T.V. News from the U.S.A. [4], 山根繁他編 (金星堂, 1995年, 1500円)

Pop Song Listening, Kim R. Kanel 編 (成美堂, 1995年, 800円)

授 業 計 画

毎回一つずつ news をとりあげていきます。予習を前提とします。

かなり速く感じられるニュース英語 (アメリカ国内のテレビニュースの平均発話速度は毎分191語) を聞くためのウォーミングアップとして、また、英語をメロディーやリズムとともに楽しむために、毎時間授業の初めに、英語のヒット曲を1曲ずつ聴いていきます。

第一回目 - Introduction

- ・ 「時事英語」とは...
- ・ テレビニュース英語の特徴
- ・ 聴解力向上のために...

第二回目以降

1. Bargain Hunters in Japan
2. Movie Ratings and the Oscars
- ...
14. The Next Arthur Ashe
15. Remembrance of Martin Luther King

【評価方法】

平常点 = 試験

【授業科目名】 総合英語Ⅱ（心理学科）	【担当者】 ハベル 清子
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニング、リーディング、スピーキングを、2種類の教材を用い、英語を（なるべく）使用してやりたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(1) Figure It Out : James Vardaman, Shohaku sha (2) MINI WORLD : ミニ・ワールド社（購入の際そのように指示します）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1時間を2分し、最初にリスニングを教科書を使い、2週間で1課ずつこなす。後の半分はやさしい英語で書いてある雑誌で、映画、ファッション、外国の事、英語学習のこと等について読む。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>リスニングは隔週、リーディングは随時の小テスト。 授業参加（手をあげて発表する）は重要。 2/3以上の出席は単位（A, B, C）を取る先行条件。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ (心理学科)	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】 このクラスでは、英語のニュースをビデオで見ながら、授業を進めていく。</p> <p>テキストで取り上げられているニュースの原稿を、予め、家でよく読んでくることを習慣づけ、内容を把握した上で、クラスで、そのニュースを映像で見る事になるが、こういう事を通して、リーディングとリスニングの実力を上げてほしい。</p> <p>又、これをきっかけにして、ニュースで用いられる表現に慣れて欲しい。さらに、それぞれのニュースを、深い関心を持って見る態度を、養ってほしいと思う。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 1) "T. V. News From The U. S. A. (4)" (Kinseido)</p> <p>2) "Short Listening for Travel" (Seibido)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1年を通して、T. V. のニュース番組をビデオで見る。目と耳の両方を使って、ニュースの英語に、少しでも慣れていきたいと思う。</p> <p>テキストで扱われているニュースは、どれも比較的最近のもので、十分興味を持って取り組めるものだと思うので、家でよく調べて、読んできてほしい。</p> <p>クラスでは、ビデオを見、一緒に問題をやり、テーマについて話し合っていきたい。皆さんが、書いてあることを、どの程度理解しているか確かめるために、英語で質問するので、そのための準備をしてきてほしい。</p> <p>又、副教材として、リスニングのテキストを使う。15分から20分程度を使い、リスニング、及び、リスニング・ディクテーション（書き取り）を練習したい。</p>	
<p>【評価方法】 出席状態、平常の小テストの点数、そして授業態度を、それぞれだいたい同じ位の比重で考えて、評価の基準とする。特に、出席は極めて大事である。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ（心理学科）	【担当者】 森田 真澄
【開講期】 2年前期・2年後期	
【授業目標】 アメリカのテレビ・ニュース（ABC放送）のビデオを併用し、目も楽しませながら英語のリスニング能力、読解力を伸ばして頂きたいと思います。	
【テキスト・参考書】 “T.V.NEWS FROM THE U.S.A.〔4〕” 「テレビで学ぶ英語〔4〕」 金星堂発行、1500円	
授 業 計 画	
<p>受講者は、授業に出る前にテキストのNews Storyの部分を必ず読んでおく事が前提のクラスです。1回の授業で1UNITをカバーします。</p>	
【評価方法】 （1）原則として、毎週、授業中に小テストを行います。 （2）授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。 （Class Participation ----- CP） 以上の二点で評価します。 評価の内訳は、（1）----- 80% （2）----- 20%	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1Ⅱ-2英語	【担当者】 清野、森田、後藤 長尾、藤田
【開講期】 2年 前期 後期	
【授業目標】 オーラル・コミュニケーション、フィクション講読、ライティングのそれぞれの分野を中心に表現能力や読解力を高めることによって、英語全般の力量向上をめざす。	
【テキスト・参考書】 開講時に指示	
授 業 計 画	
<p> 選択語学・英語は、オーラル・コミュニケーション、フィクション講読、ライティングの3分野に分かれて、それぞれ聞き話す力、読む力、書く力を高めようとするのが目的であるが、言うまでもなく、語学能力はこれら4つの力が相乗的に向上することによって力を発揮する。従ってどのクラスもそれぞれの分野に力点を置きながら、総合的な英語力を身につけられるように授業を展開する。 </p> <p> オーラル・コミュニケーション 担当：清野茂子、森田眞澄、後藤玲子 聞き話す力を磨くことで、英語の理解と表現力を身につける。 </p> <p> フィクション講読 担当：長尾主税 小説を読むことで、語彙力を高め、英語の理解と表現力を身につける。 </p> <p> ライティング 担当：藤田久美子 英語の構成を正しく知ることによって、日常会話も含めた表現力を身につける。 </p>	
【評価方法】 担当教員により開講時に提示	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ 独語	【担当者】 正路妙子
【開講期】 2年 前後期	
【授業目標】 楽しみながら読み進めるような簡単な読み物に触れながら、語彙をふやすことを目指す。	
【テキスト・参考書】 Der Fall Draeger—新・ドレーガー失踪事件— (第三書房)	
授 業 計 画	
<p>一年次にやり残した文法事項を終了したうえで、テキストに入っていく。各課は、二ページから成りたっていて、会話文が多く、文法の復習問題も付いている。その気になれば、読解力の充実を図りながら、自分の考えを表現する力を養うことができる。</p> <p>毎回、前もって予習してから授業に臨んで欲しい。</p>	
【評価方法】 定期試験のほか、出席状況や受講態度も評価します。	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ 仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 2年 前後期

【授業目標】 1年にフランス語の基礎を学んだものが、さらにフランスの文化、文学、歴史に触れながら、フランスの作家の書いたものを読めるようにしたいと思います。

【テキスト・参考書】 "Le petit prince"
Collection folio junior

授 業 計 画

「星の王子様」で日本でも有名になった童話を原文で読むことで、フランス語をさらに深めたいと思います。

毎年のようにこの本を読むのですが、この童話に対する皆さんの憧れが強いことも確かです。しかし、この童話は実は第二次大戦中に書かれたという歴史的な意味もあり、「人間の一番大切なものは何か」という作者 Antoine de Saint-Exupéry の哲学の書ともいえるもので、子供のためというよりは、私達大人が読み理解したい作品です。

フランス語は決して難しくありませんが、その哲学を読み取りながら読み進むには、フランス語以外の文化や歴史的背景と私達の現代を考えて読む必要があると思います。辞書をひきながら、そんなところまで理解できたらと思います。

【評価方法】 レポート。

專門教育科目（2年）

【授業科目名】 感覚と知覚	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業の進行に伴い、適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。</p> <p>2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINITE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。</p> <p>3、感覚器官と感覚刺激の話ー視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。</p> <p>4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。</p> <p>5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。</p> <p>6、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。</p> <p>7、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。</p> <p>8、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。</p> <p>9、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。</p> <p>10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。</p> <p>11、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。</p> <p>12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。</p> <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術ー初めて見る世界ー」</p>	
<p>【評価方法】 学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。</p>	

【授業科目名】 記憶と思考	【担当者】 荻野七重
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】 思考に関する多くの実験的研究によって示された事実や理論を示す。特にことば、概念の獲得と発達的变化の過程を見ていく。</p> <p>記憶については、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等がどのように記憶の3つの過程、記名、保持、想起（忘却）において作用するかを見ていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストとして下記のものを用いる。なおこのテキストは1年後期の開校の「条件づけ」に用いたものであり、この授業ではその後半部分を使用する。</p> <p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社）</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 問題解決と推理</p> <p>問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達と推理（J. P. ピアジェ） 演繹的推理と機能的推理 創造性（集中的思考と分散的思考）</p>	<p>テキスト 5章</p>
<p>2. 概念過程と言語の獲得</p> <p>概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考</p>	<p>テキスト 6章</p>
<p>3. 記憶と忘却</p> <p>記憶とは何か 記憶の研究法（記銘材料と測定法） 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術</p>	<p>テキスト 7章</p>
<p>4. 有意味材料の記憶</p> <p>エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容</p>	<p>テキスト 8章</p>
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験時にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 動機づけと感情	【担当者】 小林 能成
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>感情は、人間にとって最も重要な関心事の一つといえる。授業目標は、これまで心理学でとり扱われてきた、感情と動機づけに関する基礎概念を学習し、理解することにある。またそれらに関連し、日常のストレスや適応、行動異常の問題なども取り上げていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要な資料等は授業にて配布する。また、参考書は随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>I 心理学における感情・動機づけ研究の流れ</p> <p>II 動機づけの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動機づけの諸概念 ・動機の種類 <p>III 生物的動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホメオスタシス ・摂食行動 性行動 ・摂食行動の生理学的基礎 <p>IV 内発的動機</p> <p>V 社会的動機</p> <p>VI 感情（情動）の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感情の定義 ・感情の表出と研究法 <p>VII 情動の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情動の種類 ・情動の発達 <p>VIII 情動の理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情動の生理学的基礎 ・情動の抹消起源説 ・情動の中枢起源説 ・情動の認知説 <p>IX 欲求不満と適応・不適応</p> <p>X ストレスと健康</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験を行う予定</p>	

【授業科目名】 英書講読	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 心理学の英文書の読解をとおして，原書に親しむことが目的です。	
【テキスト・参考書】 テキスト：授業の際用意します	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常と異常のこれまでの認識について。 2. 知能について 3. 性格について <p>使用するのは，オーストラリアの高校生向けのテキストのコピーです。 そのほか，最近の心理学関係ジャーナルの一部をコピーして使います。</p>	
【評価方法】 平常点	

【授業科目名】 情報処理Ⅱ	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通して、数値データの処理とそのグラフ化、ならびにデータベースの作成と検索方法を学ぶ。数値データの処理は心理学の研究に欠かせないばかりか、生活の様々な側面でも必要とされている。また、電子情報化されたデータベースは今後の私たちの生活に重要な役割を持つと考えられる。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. スプレッドシート入門 「スプレッドシート」とは 基本用語と基本的なキー操作 2. 数値データ処理 数値データ処理の基本（データの入力と編集、ワークシートの保存と呼び出し、再計算、セル番地、表の整形、範囲指定、セルの形式、罫線の活用） 数値データ処理の応用（t検定） 3. プリントアウト プリンタドライバの設定、印刷の詳細設定 4. グラフ表示 グラフの基本（グラフ表示の方法、グラフの種類、グラフの詳細、グラフ印刷） グラフの応用 5. 関数の活用 基礎的な関数（算術関数、統計関数） 関数の応用（相関係数の算出） 6. データベースとしてのスプレッドシート データベースとは 簡単なデータベース作成（住所録） ソーティング（並べ換え） 抽出 データベース用語の基礎知識 	
【評価方法】 実技試験をおこなう。	

【授業科目名】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により、データを表に整理し、処理、グラフ化することで、数値データをわかりやすく表現する。データベース機能を使い、収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
【テキスト・参考書】 指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説，基本的な操作，データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力，計算（算術関数など），罫線，セルの形式，ワークシートの保存，呼び出し，印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示，グラフの種類，グラフの編集，グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t 検定，相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ換え，データの抽出。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席，授業中におこなう課題。</p>	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	専任教員他
【開講期】	2年前期・2年後期		
【授業目標】	心理学学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。		
【テキスト・参考書】	必要に応じて指導教員が指示する。		
授 業 計 画			
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていく。前期の心理学研究演習では、先行研究に関する文献の講読や予備調査、予備実験などを行い、後期の卒業研究で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的である。</p> <p>研究成果は1月の「卒業研究発表会」で心理学学科の内外に向けて発表される。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出する。</p> <p>研究テーマの決定方法については、心理学学科から指示がある。</p> <p>次のページ以降に、教員の提示したテーマを掲げる。</p>			
【評価方法】	平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。		

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 荻野七重・長谷川智子
【開講期】	2年前期・2年後期	
授 業 計 画		

テーマ1 幼児期の発達に関する研究

人間の発達において、特に乳幼児期の身体的、精神的発達はめざましいものです。ここでは、幼稚園、保育園に在園する子どもを対象に、実験的方法、質問紙法、行動観察法などを用いて、関心のあるテーマで発達的な変化を検討していきます。内容は、知的発達、社会的発達、母子関係、食行動など自由です。

テーマ2 日常記憶研究1（人に関する記憶）

人の顔、人の名前などなど、人の身体的特徴、人の心理的特徴などのごく日常的な場面の記憶を取り上げて、実験的研究を行いたいと思います。研究演習はそのための文献研究、実験的手法の習得にあてます。全体として、テーマ3と合同で授業を進めていきます。

テーマ3 日常記憶研究2（個人的経験の記憶）

遠い過去の経験、比較的最近の経験、今日の経験など、個人の経験がどのように記憶されるのか、されているのかについて実験的あるいは調査による研究を行いたいと思います。研究演習はそのための文献研究、実験的手法の習得にあてます。全体として、テーマ2と合同で授業を進めていきます。

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 金子尚弘
【開講期】	2年前期・2年後期	
授 業 計 画		
<p>テーマ4 応用行動分析1（ヒトの行動分析）</p>		
<p>ヒトの行動は、弁別刺激－自発的反応－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを考えてみます。</p>		
<p>テーマ5 応用行動分析2（自閉症児療育の行動分析）</p>		
<p>自閉症児とは生後30カ月未満に、他人に対する反応が欠如し、言語発達が遅れ、状況に対する奇異な反応が見られた子供の事です。コロロE Tセンターには100人以上の自閉症児が治療教育のため通っています。この療育施設で行われている行動療法的訓練を観察し、トレーナーから自閉症児は何を学習し、行動がどの様に変化していくのかを色々な側面から観察し分析していきます。また、今までこの施設に通所した自閉症児の初期の行動特徴と行動療法開始後の特徴をまとめ、行動のどの側面が変えられていくのかを考えていきます。</p>		

【授業科目名】

心理学研究演習・卒業研究

【担当者】 神田信彦・杉山成**【開講期】**

2年前期・2年後期

授 業 計 画**テーマ6 ストレス・コーピングと適応の関係**

日常、私たちは、多くの刺激に曝されています。それらの刺激は、言い替えれば、よくも悪くも、ストレス状態を私たちにもたらしめます。ストレス状態が、私たちにどのように影響するのかについては、刺激の特性にも依りますが、私たちがそれをどのように受けとめるかということも関係します。ここでは、対人場面で経験されるストレスを中心にして、人がそれをどのように受けとめ、対処するかについて研究します。特に、小学生から中学生くらいまでの人たちを対象にした内容にしたいと考えています。

テーマ7 自己意識特性に関する研究

人が自分に意識を向ける傾向を自己意識特性と呼びます。自己意識特性には、他者からも見ることができる公的自己意識特性と、他者は見ることができず自分しか見ることができない私的自己意識特性があるとされています。この研究グループは、中学生や小学生を対象に自己意識特性の質的・量的側面の発達的变化や他の人格変数との関係を検討する予定です。

テーマ8 過去、現在、未来の自己と適応の関係

「自己」に対する意識には、現在の自己に対するイメージの他に、過去の「こうであった」自己や、未来の「こうでありたい」自己、「こうであろう」自己など多様なイメージが含まれています。こうした過去や未来の自己のイメージは、個人の中でどのように位置づけられ、そして機能しているのでしょうか。

本テーマでは、過去、現在、未来における自己イメージの内容、構造を調査し、性格特性や社会的適応性との関連を検討することによって、この問題を考えていきたいと思えます。

【授業科目名】

心理学研究演習・卒業研究

【担当者】倉澤寿之・原奈津子

【開講期】

2年前期・2年後期

授 業 計 画

テーマ9 「よい印象」に関する研究

私たちは日常生活の中で出会ういろいろな人について、さまざまな印象を持ちます。その人の性格や好みはもとより、頭のよさや意図、さらには家庭環境やこれまでの人生などまで想像できたりすることさえあります。こういった印象はどこから形成されるのでしょうか。また、「よい印象」とはどういう印象のことで、そういう印象を持ってもらうためにはどうすればよいのでしょうか。この研究では、調査や実験を通してこの問題に取り組んでみようと思います。

テーマ10 血液型性格判断の社会的浸透に関する研究

世の中では血液型で性格を判断することがはやっています。しかし、これは科学的にはほとんど根拠の無いことだということがわかっています。それでもなお信じている人が多いのはなぜでしょうか。信じていないにしても話題にのぼることが多いのはなぜでしょうか。血液型の話が私たちの日常で果たす役割は何かという面からこの問題を捉えてみたいと思います。

テーマ11 説得における気分の影響について

その時の気分や感情によって行動や思考が影響されるということは日常でもよくみられることです。何かいいことがあると思わず人におごってしまったり、嫌なことがあったときに、普通ならOKするような頼まれ事を断ってしまったり、というのはその一例です。このような気分の影響について説得を題材に研究を進めます。

1. 一般に、相手が良い気分の時は説得しやすく、悪い気分の時には説得しにくいと信じられているようですが、果してその通りなのでしょうか？
2. また、実際に気分が説得の過程に影響を及ぼすとすれば、それはどのようなメカニズムによるのでしょうか。

このような点について、実験を通して検討してみようと思います。

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 林潔・高橋浩子
【開講期】	2年前期・2年後期	
授 業 計 画		
<p>テーマ12 日本人留学生の意識調査</p>		
<p>最近では、異文化間コミュニケーションの研究が盛んにおこなわれています。ここでは、異文化での経験、なかでも留学経験が、学生の思考や行動面にどのような変化をもたらすのか、検討してみたいと思います。生活行動などに関する調査票を作成し、意識調査を行います。調査対象には、主としてハワイ大学の日本人留学生を考えています。</p>		
<p>テーマ13 職業について</p>		
<p>職業をめぐる問題について、いくつかの視点から考えてみたいと思います。職業の意味、人はなぜ職業につくのか。ということから、職業観までいろいろなテーマが出てくると思います。</p>		
<p>テーマ14 教育相談について</p>		
<p>この領域にもいろいろな内容があります。最初教育相談全体を考えて、だんだんと焦点を絞って行くようにしたいと思います。2テーマ位できるでしょうか。</p>		

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】八木孝彦
【開講期】	2年前期・2年後期	
授 業 計 画		
<p>テーマ15 顔に関する研究 顔に関する研究であればオーケー。先輩から継続しているテーマもあります。</p> <p>(イ) 睡眠時の表情変化 眠っている時には表情は変化するのでしょうか？実際に眠っている時の表情をビデオで録画して、その特徴を分析します</p> <p>(ロ) 催眠による感情喚起場面の表情特徴 催眠によって、過去の楽しかった場面、悲しかった場面、恐かった場面等を想起してもらいます。そしてその表情を分析します</p> <p>(ハ) その他何でもok (たとえば美人の顔とは?) ただし人相学等はダメ</p> <p>テーマ16 コミュニケーションの分析 会話の分析を計画しています。今年が初年度なので、英語の論文を読みたいです。ゆっくりと英語を勉強したい人を大募集。個人でも可。 英語の本は、次のものを予定。 Labov, W. & Fanshel, D. 1977 Therapeutic discourse ; Psychotherapy as conversation. Academic press</p>		

【授業科目名】 心理学研究法A (カウンセリングの実際)	【担当者】 川島 真
【開講期】 2年 前後期	
<p>【授業目標】</p> <p>カウンセリングの方法や進め方、技術を事例を通して学ぶことにより、カウンセリングへの理解を深め、日常生活でのカウンセリング・マインドを身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特に定めない。授業時に適宜プリント配布する。</p> <p>参考書：大平健『やさしさの精神病理』（岩波新書） 野原明『日本の教育－いま家庭で学校で－』（丸善ライブラリー）</p>	
授 業 計 画	
<p>カウンセリングではどのようなことが行われているのか、カウンセラーの仕事とは何か、カウンセリングの方法・進め方などを事例を取り上げながら学ぶ。 授業はVTR・テープや資料を多用し、具体的に進める予定である。 また、一方的な講義ではなく、ディスカッションを交えながら”考える”授業としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カウンセリングとは？ 2 カウンセラーの仕事とその役割 3 青年のカウンセリング①VTR「自立を怖れる若者たち」 4 青年のカウンセリング②現代青年を考える 5 子どものカウンセリング①VTR「子どもを怖れる子どもたち」 6 子どものカウンセリング②現代社会と子どもたち 7 思春期のカウンセリング①VTR：いじめのケース 8 思春期のカウンセリング②学校カウンセリング 9 被災者の心の傷とカウンセリング 10 カウンセリング・面接・心理療法 11 面接の実際①－面接事例テープ「ゆう子のケース」 12 面接の実際②－面接の進め方と面接の技法 13 総まとめとレポート課題の提出 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート試験を実施。レポート課題は第12回授業時に配布し、最終授業時に提出。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】心理学研究法 A	【担当者】神田信彦
【開講期】 2 年前期 ・ 2 年後期	
【授業目標】 心理療法の基本的な概念を知り、自己理解を深めるための視点を身につける。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>講義と実習を織り混ぜながら、“自己”について考え、体験し、これまで気づかなかった自己にも触れることによって、自己あるいは他者との関係についての新たな可能性を考える。演習の内容は、概ね以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. さまざまな“自己”の捉え方 (2 週) 3. 心理療法の基本概念と理論 (3 週) 4. 自己理解のための実習 (1) - ニューカウンセリングの視点から - 5. 自己理解のための実習 (2) - 論理療法の視点から - 6. 自己理解のための実習 (3) - ゲシュタルト療法の視点から - 7. 自己理解のための実習 (4) - コラージュ療法の体験 - (2 週) 8. まとめ 	
【評価方法】	

【授業科目名】 心理学研究法 A	【担当者】 福田周
【開講期】 2 年 前後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理療法で用いられる技法の一つである箱庭療法を実際に体験し、自身の体験を通しての箱庭療法の理解を深める。さらに、自己の内的世界との交流を通して、心理的な自己啓発を個々が深めていくことを目標とする。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>心理学の分野のうち、カウンセリングや自己啓発などを行う臨床心理学の領域があるが、そこでは様々な技法によって人間の心理の理解と共感を深めていく。その中で箱庭を使った他者および自己との交流を通して、心理療法の基本的な素養を身に付け、さらに事故との新しい出会いを通して、内的世界の重要性や新たな可能性などに触れていくことを目指してみたい。簡単なオリエンテーションを行った後、小グループに分かれ、各人箱庭を制作していく予定である。箱庭作成は一人1回ないしは2回となる予定である。</p> <p>(1) オリエンテーション</p> <p>(2) グループごとの箱庭制作</p> <p>(10) 箱庭療法の理論と歴史</p> <p>(11) 箱庭療法の理解の仕方 (VTR)</p> <p>(12) 事例を通じた箱庭療法の理解</p> <p>(13) まとめ</p>	
<p>【評価方法】 各自箱庭を制作した時点で、次回までにレポートを提出、さらに最後にまとめのレポートを提出すること。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 A	【担当者】 若山 隆良
【開講期】 2 年前期・2 年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>描画法および描画テストを実際に体験し、イメージの象徴的理解について関心を深めることを目的とする。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・描画法・描画テストを実際に体験することを第一の目的とする。 ・心理テストとしての描画テストと、心理療法の技法としての描画法の違いについて考える。 ・描画テストについては、大まかな理論的背景、教示の仕方、結果の整理法、解釈法を講義する。 ・取り扱う描画法は下記の「授業の予定」にあるものを予定しているが、多少の変更はありうる。 <p>授業の予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 描画法の概説 2. バウムテスト 3. バウムテスト 4. スクィグルゲーム 5. スクィグルゲーム 6. 風景構成法 7. 風景構成法 8. 風景構成法 9. HTP 10. HTP 11. HTP 12. 予備日 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末レポートによる評価</p>	

【授業科目名】 心理学研究法B（質問紙調査）	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期 ・ 2年後期	
<p>【授業目標】 質問紙調査は心理学の研究をはじめ、世論調査、マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識・技法を学び、実際に簡単な質問紙を作成・実施する。またデータの処理方法についても、基本的な事項を習得することをめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 （参考書）続有恒・村上英治（編）心理学研究法9 質問紙調査 東京大学出版会 杉山明子（著）社会調査の基本 朝倉出版</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 質問紙調査とは（講義形式） 観察法・面接法などと比較した、質問紙調査実施の概略 2. 質問紙調査の基礎知識（演習形式） <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査方法の種類 ・ 質問紙の構成・体裁 ・ 質問文の作成法 ・ 質問紙法の諸問題 ・ サンプルング方法（層化無作為抽出法） ・ データ処理方法（クロス集計・多変量解析） 3. 調査の実習（実習形式） <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容・調査計画の決定 ・ 質問文の作成 ・ 質問紙の作成 ・ サンプルングの実習 ・ 調査の実施 ・ 調査票の回収 ・ 調査票の事後処理 ・ データのクリーニング ・ データのコンピュータへの入力 ・ コンピュータによる分析 ・ 結果の解釈 4. 調査報告書（レポート）の作成 	
<p>【評価方法】 出席状況、演習での発表の良否、実習への貢献度、報告書の良否を総合して評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 B	【担当者】 鈴木 牧彦
------------------	-------------

【開講期】 2 年前期・2 年後期

【授業目標】 脳と心の関係にアプローチするしかたには、狭義にいう生理心理学的アプローチと精神生理学的なアプローチがある。前者は、生体（特に神経系）の生理学的な変容にともなう行動変容を心理学的な方法で測定することによって「心理学的概念の実体化」をめざし、後者は、心理学的変容にともなう生理学的変化の測定を通して心身の相関を解き明かそうとする。授業では、脳を科学するとはどういうことか、それにはどのような方法があるのか、異なる方法をとることによって心の見え方がどのように変わってくるのか、そうしたことを知り、考える力を養う。

【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない。
参考書：必要に応じて適宜紹介する。

授 業 計 画

授業内容を分野別に掲げると、(1)精神生理学、(2)神経心理学、(3)生理心理学の3部となり、授業は大まかにこの順序で進めて行く。(1)、(3)では実習を中心に、(2)は講義中心で行なう。

(1)精神生理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは、「精神作業時の心拍数の変化」。

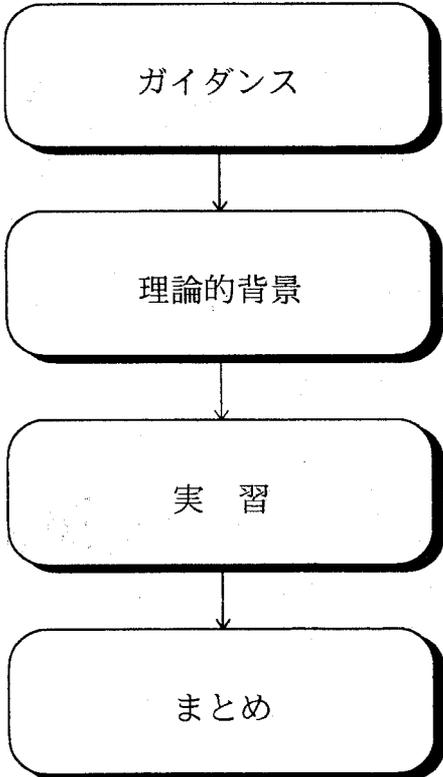
(2)左右離断脳、失語症、痴呆症、分裂病やアルコール依存症における認知障害などに関する実験例、臨床例の紹介、視聴覚資料を利用した神経心理学的検査の実際などを紹介する。

(3)生理心理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは「脳内自己刺激行動」で、外側視床下部から誘発される行動の観察、自己刺激行動の獲得と消去の過程を実地に観察する。最後に、「脳を見る」というテーマで実験に用いた動物の脳の組織標本の作成を通じて脳の構造を観察する。

①オリエンテーション		授業全体の構成、主眼点、進め方についてのガイダンス。
②「精神作業時の心拍数の変化」	講義と実験の説明	自律神経系、情動理論、シャクターの情動実験などの紹介を含む講義、実験の説明。
③④	実験	
⑤	データ整理	自分が被験者となったときの心電図を集計し、各人の結果についてグラフを作成する。
⑥	討論	「心拍数」の実験結果について考察、討議する。
⑦神経心理学	講義	神経心理学におけるトピックス。
⑧生理心理学	講義	生理心理学における手技（刺激法、破壊法）。
⑨「脳内自己刺激行動」	実験の説明、実験	実験の背景（情動、動機づけに関する簡単な生理学的研究史）、方法の説明に引き続き実験。
⑩	実験	実験と結果の整理。
⑪⑫「脳を見る」	実習	切片作成。
⑬	実習	染色、組織標本の鏡検。

【評価方法】 レポート

【授業科目名】 心理学研究B (行動分析学)	【担当者】 中丸 茂
【開講期】 2年 前後期	
【授業目標】	
<p>行動の定義、測定、予測、制御を実際に実習形式で行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。</p>	
【テキスト】 講義時にプリントを配布 (書き込み形式)	
* 講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる	
【参考書】	
アルパートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社	
super string SR21 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社	
杉山ら 1995 行動分析学入門 基礎編 産図テキスト	
授 業 計 画	
<p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係 (随伴性) であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p>	
<p>本講義は、基礎知識の取得期 (講義) とその応用 (実習) という2つの形式をとる。前半は、俗信行動 (占い、相性、心霊現象) や情動行動 (恋愛) などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p>	
[行動分析学の基礎知識]	
1. 科学って何?	あの世は科学の対象になるか? 死人に口なし!!
2. 三項随伴性	恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか?
3. 迷信行動	当たるも八卦当たらぬも八卦?
4. 情動行動	ラットやハトも嫉妬する?
[応用行動分析]	
5. 行動目標	客観って何? シュール・ダンスは気分爽快!
6. 行動観察法	森高の腕振り行動は数えられるか?
7. 実験計画法	なにが行動を制御してるのか?
8. 査定	行動分析学に統計の知識はいらない?
【評価方法】	
レポート	

【授業科目名】 心理学研究法 B	【担当者】 中宮 敏之
【開講期】 2年前後期	
<p>【授業目標】</p> <p>バイオフィードバックは、生理過程の随意コントロールを開発する新しい方法として1960年代から研究が始められた比較的新しい領域である。この授業では、バイオフィードバックに関する理論および、実際に実施する上での技法を修得することを目的とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト: 適宜、資料を配付する</p> <p>参考書: E. B. Blanchard & L. H. Epstein 著 (江草安彦他訳), 「バイオフィードバック入門」医学書院, 1984</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は、以下のように進める予定である。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <pre> graph TD A[ガイダンス] --> B[理論的背景] B --> C[実習] C --> D[まとめ] </pre> </div> <div style="flex: 2; padding-left: 20px;"> <p>バイオフィードバックとは何かということについて、簡単な例を紹介しながら解説する。</p> <p>バイオフィードバックに関する理論、および、その背景にある種々の人間の生理的機能について説明する。</p> <p>いくつかの指標を用いて、実際にバイオフィードバックの実験を行い、測定方法や技法の修得を行う。またレポートの書き方についても指導する。</p> <p>実習を通して得られた知見について検討を行う。さらに、関連する文献を収集し、理解を深める。</p> </div> </div>	
<p>【評価方法】</p> <p>実習ごとのレポートで評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 B	【担当者】 正木 宏明
【開講期】 2年前後期	
【授業目標】 <p>ヒトの心の働きを脳波という生理指標を用いて探る。脳波の測定方法を学習するだけでなく、脳内の情報処理過程を実験を通して理解することを目指す。</p>	
【テキスト・参考書】 テキスト：授業時にプリントを配布する。 参考書：宮田洋 他、『生理心理学』、朝倉書店、1985 J. ハセツト著 平井久 他訳、『精神生理学入門』、東京大学出版会、1978 大熊輝雄 『臨床脳波学』、医学書院、1983	
授 業 計 画	
<p>まず、脳波計の基本操作及び電極装着を練習し、脳波を自分で記録できるようにする。記録した脳波について波形の特徴や周波数の違いを視察で調べ、脳波上に生じた一過性的変化や他の生体電気現象の混入、さらに意識水準と脳波との関連について理解する。</p> <p>後半では最近の研究動向を紹介したうえで、実験・解析を通して脳波から何がわかるのかを体験的に理解する。その際、実験を計画するうえでの注意点にも言及する。また、得られたデータを正しく読み取り、なぜそのような結果が得られたのかについて考察し、レポートに纏める。</p> <p>授業は以下の項目に従って進める予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス 脳の構造と機能、脳波の発生起源、最近の研究動向 ・ 脳波計の操作 脳波計の構造と操作方法 ・ 電極の装着 国際 10-20 法、探査電極、基準電極、接地電極 ・ 電極装着及び脳波記録実習 ・ データ整理 周波数、振幅、アーチファクト、αブロッキング ・ 実験計画法 独立変数と従属変数 ・ 実験 1 精神作業時、音楽・騒音聴取時の脳波変化 ・ 解析 周波数、振幅等の計測及びレポート ・ 実験 2 事象関連電位（運動関連脳電位、N100、P300 など） ・ 解析 加算平均法の実践及びレポート ・ 脳波異常 異常波形について 	
【評価方法】 電極を正しく装着し、脳波を記録できることが 50 点 記録したデータを分析し、そこから何がいえるかについてレポートしたものを 50 点	

【授業科目名】 精神生理学	【担当者】 竹内 朋香
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>何かを見たり、聞いたり、触ったり、話をしたり、驚いたりするとき、我々の身体にはどんな変化が生じているのだろうか？こうした視点から、ヒトを研究する際の実験および測定法について学び、行動や精神活動と生理活動との関連について理解する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 <u>授業中にプリントを配布する。</u></p> <p>J. L. アンドレアッシ 『心理生理学』 ナカニシヤ出版 1985 宮田洋 他 『生理心理学』 朝倉書店 1985 堀忠雄・斉藤勇 脳生理心理学重要研究集1 意識と行動 誠信書房 1992 堀忠雄・斉藤勇 脳生理心理学重要研究集2 情報処理と行動 誠信書房 1995</p>	
授 業 計 画	
<p>はじめに、心理学における精神生理学の位置づけについて理解する。次に、脳神経系の構造と機能について確認する。その後、各生理指標ごとにトピックスを紹介し、測定法および行動と生理活動との関係について理解していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神生理学とは？ ・脳神経系の基礎事項の確認 ・生理指標と行動・精神活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 脳波1：覚醒水準と意識 睡眠 など 2) 脳波2：認知活動 など 3) 筋活動：運動、バイオフィードバック など 4) 汗腺活動の反応：定位反応と慣れ など 5) 心臓血管系の反応：ストレス など 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点として、適宜小テストを行う。 定期試験を行う（配付資料、ノート、持ち込み可）。</p>	

【授業科目名】 心理検査法	【担当者】 田中 康裕
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>投影法を中心とした心理検査法の臨床場面での用い方に、事例検討を通して学習する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p> none 指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容を講義予定とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 心理検査の種類とその内容 ② テスト・バッテリーについて ③ 心理検査を用いるにあたっての留意点 ④ 臨床事例検討。 <p>講義は、体験的教材を用いる。適宜、実習を併せて行う。</p> <p>臨床心理学における、事例研究を中心とする。</p> <p>④ には、その理由を述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート。</p>	

【授業科目名】 カウンセリング	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 カウンセリング概説－ロジャース理論を中心に	
【テキスト・参考書】 テキスト：内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」日本文化科学社 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 田畑治，他「来談者中心療法」，ピアーズ「わが魂にあうまで」， 国分康孝「カウンセリング・ワークブック」，ガーフィールド「心理療法」 内山喜久雄「登校拒否」，杉溪一言「カウンセラーの悩みと生きがい」 中西信男，他「最新カウンセリング入門」，上田閑照「十牛図」，他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 悩む人と，悩ますもの（ストレッサー）について 2. カウンセリング，心理療法の流れ 3. 実存的アプローチの一つとしての「来談者中心カウンセリング」の役割 4. Rogersの適応と人格論 5. 面接の実際：受理面接 6. 同 ； 来談者中心カウンセリングのアプローチ 7. 応答訓練 8. 他の立場の紹介：RobinsonとThorneの折衷的アプローチ <p>卒業生による講演「私のカウンセリング」を入れる予定です。</p>	
【評価方法】 平常点，中間試験，その他未定	

【授業科目名】 行動療法	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 行動療法の基礎について学習する。	
【テキスト・参考書】 テキスト：「カウンセリング」と同じ 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 上里一郎「行動療法」，坂野雄二「認知行動療法」， 園田順一，他「子どもの臨床行動療法」，氏家寛「心理面接のノウハウ」， ベック「認知行動療法」，中西信男，他「ストレス克服のためのカウンセリング」，他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ふたたびカウンセリングの流れ 2. 行動療法の特徴 3. 行動療法の受理面接 4. 行動療法の技術 強化，系統的脱感作，フラッディング，モデリング，など。 5. 認知行動療法について <p>臨床心理学の領域で仕事をされている方の講演を入れる予定です。</p>	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 臨床心理学	【担当者】 若山 隆良
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 心理療法の理論と実際を主として事例の紹介を通して講義し、「心理療法とはどういうものか」という大まかなイメージをもてるようにすることを目的とする。	
【テキスト・参考書】 テキストは授業に添った指定する(最新のものを使用したいので) ・その他資料はプリントとして配布する	
授 業 計 画	
<p>授業ではできるだけ多くの事例に接することができるようにしたい、その中で学生諸君が自らの感性を通して、いろいろなことを考えたり感じたりしてほしい。できるかぎり学生諸君にとっても親しみやすい事例を紹介する中で、理論的な解説も加えるようにしていきたい。事例の選択は受講者の関心を聞きながら適宜に決めていくことにする。</p>	
【評価方法】 期末レポートの成績、授業の平常点(出席率ではない)の両方で評価する	

【授業科目名】 健康心理学	【担当者】
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 担当者未定のため決定次第配布する。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
This area is intentionally left blank for the course plan content	
【評価方法】	

【授業科目名】 障害児心理学	【担当者】 山田寿子
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ること为目标とする。	
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない	
授 業 計 画	
<p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互連関を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び治療方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>§ 障害の定義</p> <p>第1章 障害児心理学の目的・課題</p> <p>第2章 診断とテスト</p> <p>第3章 障害の医学・生理学的基礎</p> <p>第4章 障害各論</p> <p>第1節 視覚障害</p> <p>第2節 聴覚障害</p> <p>第3節 肢体不自由</p> <p>第4節 精神発達遅滞</p> <p>第5節 自閉症</p> <p>第6節 言語障害</p> <p>第7節 学習障害</p> <p>第8節 重症心身障害</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 交流分析	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 交流分析の実際について学習する。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 杉田峰康「交流分析のすすめ」、池見酉次郎、他「セルフコントロール」、 新里里春「交流分析療法」、杉田峰康「交流分析」、新里里春「交流分析とエゴグラム」、 中村和子「わかりやすい交流分析」、他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己援助とソーシャル・サポート 2. 自己援助の試みの一つとしての交流分析 3. 交流分析とは 4. 自我の構造分析――Parent-Adult-Child 5. 交流様式（人間関係の持ち方）の分析 6. 交流の動機――ストローク、時間の構造化 7. 自己と他者への基本的関係 8. ゲーム分析――ラケットとデイスカウント 9. 脚本分析――脚本の意味と禁止令 10. 脚本のタイプと、脚本（反復強迫）からの脱出 	
【評価方法】 平常点，中間試験，その他未定	

【授業科目名】 児童相談	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 子どもの適応上の問題に関する相談の方法やあり方に関する基本的な知識を身につける。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>子どもたちの抱える発達上、適応上の様々な問題を理解し、子どもたちがより健康的に成長していくための援助の方法について考えていく。</p> <p>・講義は、以下の内容に沿って進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの問題と相談活動 2. 相談活動のプロセス 3. 相談者の心構え 4. 相談活動の方法 5. 児童相談所の相談活動（外部講師を予定） 6. 幼児期の問題と相談事例 7. 学童期の問題と相談事例 8. 思春期の問題と相談事例 <p>※受講生の人数によっては、ロールプレイなど簡単な実習を予定している。</p>	
【評価方法】 平常点（小レポート）及びレポート	

【授業科目名】 心理学特講Ⅰ	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 最近の心理療法の2つの方法を紹介します。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 アイビー「マイクロカウンセリング」、河合隼雄「昔話の深層」、 河合隼雄「昔話と日本人の心」、河合隼雄「おはなし、おはなし」、 エンデ「モモ」、子安美智子「「モモ」を読む」、 秋山さと子「ユング心理学へのいざない」、他	
授 業 計 画	
I マイクロカウンセリング 1. 折衷的カウンセリングとしてのマイクロ技法 2. 基本的技法 3. 積極技法 4. 一般面接への応用 II コラージュ療法 1. ユングの分析心理学 2. 箱庭療法とコラージュ（貼り絵）療法 3. コラージュの実際（2-3）セッション 卒業生による講演「私と心理療法」を入れる予定です。	
【評価方法】 平常点，その他未定	

【授業科目名】 心理学特講Ⅱ	【担当者】 伊藤典幸
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 心理学の現実場面での応用例を紹介していく中で、今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学がいかに有効かを知るとともに、現実の場面で心理学の知識を活用しうる能力を身につけることを目標とする。	
【テキスト・参考書】 授業の中で必要に応じ紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1 回目の授業でイントロダクションとして、心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、2回目以降、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。</p> <p>1. 居住空間の設計</p> <p>応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、どのような設計をするべきかを心理学的な見地から考えていく。</p> <p>2. 事故とヒューマンエラー</p> <p>航空機事故の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。</p> <p>3. 教育訓練プログラムの体験学習</p> <p>米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 心身医学	【担当者】 大賀達雄
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心身症患者を全人的に把握するために必要な心理学的な知識を学ぶ（特に心身相関現象）こと</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>声原 睦著「心身医学おもしろレクチャー」チーム医療</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 心身医学とは何か 2 心身医学の歴史 3 心身症の定義 4 ストレスの概念 5 Cannon の理論 6 Selye の理論 7 心理社会的ストレス Holmes と Lazarus の考え 8 失感情症 9 A型行動パターン 10 心身相関と学習理論、行動療法 11 心身相関と精神分析理論 12 心身症を固定化する要因 13 心身医学で用いる心理テストの種類 14 エゴグラム（心理テストを実施し、レポートにまとめる） 15 代表的な心身症・内分泌系の心身症（摂食障害、過食症） 16 代表的な心身症・循環器系の心身症（パニック・ディスオーダー） 17 代表的な心身症・呼吸器系の心身症（過換気症候群、気管支喘息） 18 代表的な心身症・消化器系の心身症（消化性潰瘍、過敏性腸症候群） 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目名】 精神保健	【担当者】 青田洋一
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。	
【テキスト・参考書】 (参考書) ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』(紀伊國屋書店)	
授 業 計 画	
<p>おおよそ以下の項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総論…精神障害とは? 予防とは? ②基本的用語の理解 不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気, 抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄 もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c ③精神障害の分類 ④精神分裂病 ⑤躁うつ病 ⑥神経症 ⑦その他の精神障害 ⑧精神障害の治療 ⑨精神障害と責任能力 ⑩精神医療の現状と問題点 	
【評価方法】 定期試験 (テスト)	

【授業科目名】 精神医学	【担当者】
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 <p style="text-align: center;">担当者未定のため決定次第配布する。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
【評価方法】	

学籍番号・

氏名・

〒187 東京都小平市小川町1-830
教務課0423(46)5619